

2025年度
シラバス
(講義計画)

学校法人 立志舎
京都公務員&IT会計専門学校
【法律学科】

昼間部 文化・教養専門課程 法律学科[2年制]

頁数	科目区分	必修選択	授業科目	授業形態	第一学年		第二学年		授業時数 合計	単位数 合計
					授業時数	単位数	授業時数	単位数		
1	一般科目	選択必修	社会科学概論 I	講義	40	2			40	2
2	一般科目	選択必修	社会科学演習 I	演習	20	1			20	1
3	一般科目	選択必修	人文科学概論 I	講義	40	2			40	2
4	一般科目	選択必修	人文科学演習 I	演習	20	1			20	1
5	一般科目	選択必修	自然科学概論 I	講義	40	2			40	2
6	一般科目	選択必修	自然科学演習 I	演習	20	1			20	1
7	一般科目	選択必修	社会科学演習 II	演習	40	2			40	2
8	一般科目	選択必修	社会科学演習 III	演習	20	1			20	1
9	一般科目	選択必修	人文科学概論 II	講義	20	1			20	1
10	一般科目	選択必修	人文科学演習 II	演習	20	1			20	1
11	一般科目	選択必修	人文科学演習 III	演習	20	1			20	1
12	一般科目	選択必修	人文科学演習 IV	演習	40	2			40	2
13	一般科目	選択必修	自然科学概論 II	講義	40	2			40	2
14	一般科目	選択必修	自然科学演習 II	演習	20	1			20	1
15	一般科目	選択必修	自然科学演習 III	演習	20	1			20	1
16	一般科目	選択必修	社会科学概論	講義	40	2			40	2
17	一般科目	選択必修	社会科学演習	演習	60	3			60	3
18	一般科目	選択必修	人文科学概論	講義	40	2			40	2
19	一般科目	選択必修	人文科学演習	演習	40	2			40	2
20	一般科目	選択必修	自然科学概論	講義	40	2			40	2
21	一般科目	選択必修	自然科学演習	演習	40	2			40	2
22	一般科目	選択必修	社会科学演習 I B	演習			80	4	80	4
23	一般科目	選択必修	人文科学演習 I	演習			40	2	40	2
24	一般科目	選択必修	自然科学演習 I	演習			40	2	40	2
25	一般科目	選択必修	論文	演習			40	2	40	2
26	一般科目	選択必修	時事研究 I	講義			40	2	40	2
27	一般科目	選択必修	キャリアデザイン	演習			40	2	40	2
28	一般科目	選択必修	社会科学概論 II	講義			20	1	20	1
29	一般科目	選択必修	社会科学演習 IV	演習			80	4	80	4
30	一般科目	選択必修	人文科学概論 III	講義			20	1	20	1
31	一般科目	選択必修	人文科学演習 V	演習			80	4	80	4
32	一般科目	選択必修	自然科学概論 III	講義			20	1	20	1
33	一般科目	選択必修	自然科学演習 IV	演習			80	4	80	4
34	専門科目	必修	職業実務演習 I A	演習	20	1			20	1
35	専門科目	必修	職業実務演習 II A	演習			20	1	20	1
36	専門科目	選択必修	判断推理 I	演習	60	3			60	3
37	専門科目	選択必修	数的推理 I	演習	60	3			60	3
38	専門科目	選択必修	ビジネスマナー I	演習	40	2			40	2
39	専門科目	選択必修	トレーニング演習 I	演習	20	1			20	1
40	専門科目	選択必修	判断推理 II	演習	60	3			60	3
41	専門科目	選択必修	数的推理 II	演習	60	3			60	3
42	専門科目	選択必修	総合人間科学概論 I	講義	20	1			20	1
43	専門科目	選択必修	職業実務 I B	演習	20	1			20	1
44	専門科目	選択必修	職業実務 I C	演習	20	1			20	1
45	専門科目	選択必修	職業実務 I D	演習	20	1			20	1
46	専門科目	選択必修	キャリアデザイン I	演習	40	2			40	2
47	専門科目	選択必修	キャリアデザイン II	演習	40	2			40	2
48	専門科目	選択必修	キャリアブランニング I	演習	20	1			20	1
49	専門科目	選択必修	キャリアブランニング II	演習	40	2			40	2
50	専門科目	選択必修	トレーニング演習 II	演習	20	1			20	1
51	専門科目	選択必修	コンピュータ演習 I	演習	20	1			20	1
52	専門科目	選択必修	判断推理	演習	40	2			40	2
53	専門科目	選択必修	判断推理演習 I	演習	100	5			100	5
54	専門科目	選択必修	数的推理	演習	60	3			60	3
55	専門科目	選択必修	数的推理演習 I	演習	100	5			100	5
56	専門科目	選択必修	就職セミナー I	演習	20	1			20	1
57	専門科目	選択必修	数的推理演習	演習			100	5	100	5
58	専門科目	選択必修	判断推理演習	演習			100	5	100	5
59	専門科目	選択必修	資料分析演習 II	演習			40	2	40	2
60	専門科目	選択必修	文章研究 III	演習			40	2	40	2
61	専門科目	選択必修	適性演習 II	演習			40	2	40	2
62	専門科目	選択必修	社会学	講義			20	1	20	1
63	専門科目	選択必修	教育心理学	講義			20	1	20	1
64	専門科目	選択必修	判断推理 III	演習			100	5	100	5
65	専門科目	選択必修	数的推理 III	演習			100	5	100	5
66	専門科目	選択必修	総合人間科学演習 I	演習			20	1	20	1
67	専門科目	選択必修	卒業研究	演習			160	8	160	8
68	専門科目	選択必修	ビジネスマナー	講義			80	4	80	4
69	専門科目	選択必修	ビジネスマナー II	演習			40	2	40	2
70	専門科目	選択必修	コンピュータ演習 I	演習			20	1	20	1
71	専門科目	選択必修	コンピュータ演習 II	演習			20	1	20	1
72	専門科目	選択必修	コンピュータ演習 III	演習			40	2	40	2
73	専門科目	選択必修	職業実務 II B	演習			20	1	20	1
74	専門科目	選択必修	職業実務 II C	演習			20	1	20	1
75	専門科目	選択必修	職業実務 II D	演習			20	1	20	1
76	専門科目	選択必修	キャリアデザイン III	演習			40	2	40	2
77	専門科目	選択必修	キャリアデザイン IV	演習			40	2	40	2
78	専門科目	選択必修	キャリアブランニング III	演習			40	2	40	2
79	専門科目	選択必修	キャリアブランニング IV	演習			40	2	40	2
80	専門科目	選択必修	トレーニング演習 III	演習			20	1	20	1
	必修		科目合計		20	1	20	1	40	2
	選択		科目合計		1560	78	1760	88	3320	166
	卒業に必要		な総授業時数		920		800		1720	

科目名	社会科学概論 I	開講年次	1年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	田口聖、濱里健史郎、山野勝和				

〔講義主要目標及び講義概要〕

政治経済に関する基本的な知識を正しく理解し、演習問題の解答力を高めることを目指す。

〔講義・演習項目〕

- 1～3：民主政治の基本原則
- 4～6：日本国憲法の基本的性格
- 7～9：日本の統治機構
- 10～12：日本の政治の現状と問題
- 13～15：国際社会
- 16～20：経済体制・経済のしくみ
- 21～25：経済のしくみ
- 26～30：経済の発展と福祉の向上
- 31～35：憲法
- 36～40：法学概論

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

社会科学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	社会科学演習 I	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1
		種 類	一般科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	田口聖、濱里健史郎、山野勝和				

〔講義主要目標及び講義概要〕

政治経済に関する演習を通して、基本的な知識と概念の総合的な理解を目指す。問題の選定にあたっては、該当分野の理解を深められるよう多角的な視点で検討するとともに、国家公務員試験および地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- 1～10：政治に関する問題
- 11～20：経済に関する問題

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

社会科学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	人文科学概論 I	開講年次	1年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	田口聖、濱里健史郎、山野勝和				

〔講義主要目標及び講義概要〕

地理，世界史に関する基本的な知識を正しく理解し，演習問題の解答力を高めることを目指す。

〔講義・演習項目〕

- 1～5：地理（図法・地形・気候）
- 6～10：地理（アジア・日本の地誌的考察）
- 11～15：地理（南北アメリカ・オセアニアの地誌的考察）
- 16～20：地理（ヨーロッパ・アフリカの地誌的考察）
- 21～22：世界史（古代文明）
- 23～25：世界史（ヨーロッパ世界の形成と変動）
- 26～30：世界史（東アジア世界）
- 31～32：世界史（近世ヨーロッパの形成）
- 33～35：世界史（市民社会の成立と近代国家）
- 36～38：世界史（帝国主義とアジア地域の動揺）
- 39～40：世界史（世界大戦前後の世界）

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

人文科学に関する標準的テキスト，種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	人文科学演習 I	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1
		種 類	一般科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	田口聖、濱里健史郎、山野勝和				

〔講義主要目標及び講義概要〕

地理，世界史に関する総合的理解をより一層深めるために，種々の演習問題を多角的に検討し，国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- 1～10：地理に関する問題
11～20：世界史に関する問題

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

人文科学に関する標準的テキスト，種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、单元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	自然科学概論 I	開講年次	1 年	授業時数	40	単位数	2
		種 類	一般科目	分 類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	田口聖、濱里健史郎、山野勝和				

〔講義主要目標及び講義概要〕

数学，物理に関する基本的な知識を正しく理解し，演習問題の解答力を高めることを目指す。

〔講義・習項目〕

1～5：数と式
6～20：方程式
21～25：不等式
26～30：関数
31～35：力と運動の法則
36～40：電気・磁気

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

自然科学に関する標準的テキスト，種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	自然科学演習 I	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1
		種 類	一般科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	田口聖、濱里健史郎、山野勝和				

〔講義主要目標及び講義概要〕

数学，物理に関する演習を通して，基本的な知識と概念の総合的な理解を目指す。問題の選定にあたっては，該当分野の理解を深められるよう多角的な視点で検討するとともに，国家公務員試験および地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

1～15：数学に関する問題
16～20：物理に関する問題

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

自然科学に関する標準的テキスト，種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト，学期末試験，出席等を総合して判断する。具体的には，单元ごとに実施する確認テスト（答練）が50％，学期末試験が50％の割合で評価する。ただし，出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は，評価を受けることができない。

科目名	社会科学演習Ⅱ	開講年次	1年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	田口聖、濱里健史郎、山野勝和				

〔講義主要目標及び講義概要〕

政治経済に関する基本的な知識を正しく理解し、演習問題の解答力を高めることを目指す。

〔講義・演習項目〕

1～25：政治に関する問題

26～40：経済に関する問題

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

政治経済に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	社会科学演習Ⅲ	開講年次	1年	授業時数	20	単位数	1
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	田口聖、濱里健史郎、山野勝和				

〔講義主要目標及び講義概要〕

政治経済に関連する演習を通じて、基本概念の総合的な理解を目指す。演習問題の選定にあたっては、理解を深めるための問題を多角的に検討するとともに、教養知識検定の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- 1～5：政治に関する問題
- 6～10：経済に関する問題
- 11～20：検定対策（政治・経済）

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

政治経済に関する種々の問題プリントおよび教養知識検定の過去問題を中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、教養知識検定試験、出席等を総合して判断する。

科目名	人文科学概論Ⅱ	開講年次	1年	授業時数	20	単位数	1
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	田口聖、濱里健史郎、山野勝和				

〔講義主要目標及び講義概要〕

現代文・英文等に対する読解力・内容把握力・構成力等の基礎を理解することを目指す。日本の歴史の展開を世界的視点に立って理解し、日本の文化・芸術および思想等の特色についての理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

- 1～10：文章理解（要旨把握・内容把握・下線部把握・空欄補充・文整序）
- 11～12：日本史（平安・鎌倉・室町）
- 13～14：日本史（安土桃山・江戸前期）
- 15～17：日本史（江戸後期・明治前期）
- 18～20：日本史（明治後期・大正・昭和）

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

日本史・文章理解に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	人文科学演習Ⅱ	開講年次	1年	授業時数	20	単位数	1
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	田口聖、濱里健史郎、山野勝和				

〔講義主要目標及び講義概要〕

文章理解，日本史に関する総合的理解をより一層深めるために，種々の演習問題を多角的に検討し，国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

1～10：文章理解に関する問題

11～20：日本史に関する問題

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

人文科学に関する標準的テキスト，種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	人文科学演習Ⅲ	開講年次	1年	授業時数	20	単位数	1
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	田口聖、濱里健史郎、山野勝和				

〔講義主要目標及び講義概要〕

地理，世界史，日本史，国語に関連する演習を通じて，基本概念の総合的な理解を目指す。演習問題の選定にあたっては，理解を深めるための問題を多角的に検討するとともに，教養知識検定の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- 1～4：地理に関する問題
- 5～8：世界史に関する問題
- 9～12：日本史に関する問題
- 13～16：国語に関する問題
- 17～20：検定対策（地理・世界史・日本史・国語）

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

地理，世界史，日本史，国語に関する種々の問題プリントおよび教養知識検定の過去問題を中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト，教養知識検定試験，出席等を総合して判断する。

科目名	人文科学演習Ⅳ	開講年次	1年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	田口聖、濱里健史郎、山野勝和				

〔講義主要目標及び講義概要〕

すべての常用漢字を理解し、文章の中で適切に使える能力を身につけ、漢字能力検定準2級合格を目指す。

〔講義・演習項目〕

- 1～3：読み
- 4～6：部首
- 7～9：熟語の構成
- 10～15：四字熟語（書き・意味）
- 16～18：対義語・類義語
- 19～21：同音・同訓異字
- 22～24：誤字訂正
- 25～27：送りがな
- 28～35：書き取り
- 36～40：総合問題

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

漢字能力検定に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、漢字能力検定、出席等を総合して判断する。

科目名	自然科学概論Ⅱ	開講年次	1年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	田口聖、濱里健史郎、山野勝和				

〔講義主要目標及び講義概要〕

数学，化学，生物，地学に関する基本的な知識を正しく理解し，演習問題の解答力を高めることを目指す。

〔講義・演習項目〕

- 1～12：数学（三角比・不等式・方程式・関数）
- 13～16：化学（物質の構成）
- 17～20：化学（物質の変化）
- 21～24：生物（遺伝子とそのはたらき）
- 25～28：生物（生物の体内環境の維持）
- 29～32：地学（地球の構造）
- 33～36：地学（気象）
- 37～40：地学（天体）

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

自然科学に関する標準的テキスト，種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト，学期末試験，出席等を総合して判断する。具体的には，単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50％，学期末試験が50％の割合で評価する。ただし，出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は，評価を受けることができない。

科目名	自然科学演習Ⅱ	開講年次	1年	授業時数	20	単位数	1
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	田口聖、濱里健史郎、山野勝和				

〔講義主要目標及び講義概要〕

数学，化学，生物，地学に関する演習を通して，基本的な知識と概念の総合的な理解を目指す。問題の選定にあたっては，該当分野の理解を深められるよう多角的な視点で検討するとともに，国家公務員試験および地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- 1～5：数学に関する問題
- 6～10：化学に関する問題
- 11～15：生物に関する問題
- 16～20：地学に関する問題

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

数学，化学，生物，地学に関する標準的テキスト，種々の問題プリントおよび過去問題を中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	自然科学演習Ⅲ	開講年次	1年	授業時数	20	単位数	1
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	田口聖、濱里健史郎、山野勝和				

〔講義主要目標及び講義概要〕

数学に関連する演習を通じて、基本概念の総合的な理解を目指す。演習問題の選定にあたっては、理解を深めるための問題を多角的に検討するとともに、教養知識検定の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

1～14：数学に関する問題

15～20：検定対策

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

数学に関する種々の問題プリントおよび教養知識検定の過去問題を中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、教養知識検定試験、出席等を総合して判断する。

科目名	社会科学概論	開講年次	1年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

法学および政治・経済分野について、相互関連性に注目しながら講義を展開する。社会科学の基本概念の理解を目標とする。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 政治：民主政治の基本原則 1 | 21. 政治：国際社会と国際連合 1 |
| 2. 政治：民主政治の基本原則 2 | 22. 政治：国際社会と国際連合 2 |
| 3. 政治：民主政治の基本原則 3 | 23. 政治：国際社会と国際連合 3 |
| 4. 政治：民主政治の基本原則 4 | 24. 政治：国際政治の動向 1 |
| 5. 政治：民主政治の基本原則 5 | 25. 政治：国際政治の動向 2 |
| 6. 政治：日本国憲法の基本原則 1 | 26. 経済：経済社会と経済体制 1 |
| 7. 政治：日本国憲法の基本原則 2 | 27. 経済：経済社会と経済体制 2 |
| 8. 政治：日本国憲法の基本原則 3 | 28. 経済：現代経済の仕組み 1 |
| 9. 政治：日本国憲法の基本原則 4 | 29. 経済：現代経済の仕組み 2 |
| 10. 政治：日本国憲法の基本原則 5 | 30. 経済：現代経済の仕組み 3 |
| 11. 政治：日本の統治機構 1 | 31. 経済：現代経済の仕組み 4 |
| 12. 政治：日本の統治機構 2 | 32. 経済：現代経済の仕組み 5 |
| 13. 政治：日本の統治機構 3 | 33. 経済：現代経済の仕組み 6 |
| 14. 政治：日本の統治機構 4 | 34. 経済：現代経済の仕組み 7 |
| 15. 政治：日本の統治機構 5 | 35. 経済：現代経済の仕組み 8 |
| 16. 政治：日本の政治の現状と課題 1 | 36. 経済：日本経済のあゆみ 1 |
| 17. 政治：日本の政治の現状と課題 2 | 37. 経済：日本経済のあゆみ 2 |
| 18. 政治：日本の政治の現状と課題 3 | 38. 経済：日本経済の諸課題 1 |
| 19. 政治：日本の政治の現状と課題 4 | 39. 経済：日本経済の諸課題 2 |
| 20. 政治：日本の政治の現状と課題 5 | 40. 経済：日本経済の諸課題 3 |

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

社会科学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	社会科学演習	開講年次	1年	授業時数	60	単位数	3
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

政治経済，公共，時事分野について，種々の問題演習をおこなう。各種公務員試験の出題傾向を考慮しつつ，社会科学分野の総合的理解を深めることを目標とする。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 政治に関する問題 | 31. 経済に関する問題 |
| 2. 政治に関する問題 | 32. 経済に関する問題 |
| 3. 政治に関する問題 | 33. 経済に関する問題 |
| 4. 政治に関する問題 | 34. 経済に関する問題 |
| 5. 政治に関する問題 | 35. 経済に関する問題 |
| 6. 政治に関する問題 | 36. 経済に関する問題 |
| 7. 政治に関する問題 | 37. 経済に関する問題 |
| 8. 政治に関する問題 | 38. 経済に関する問題 |
| 9. 政治に関する問題 | 39. 経済に関する問題 |
| 10. 政治に関する問題 | 40. 経済に関する問題 |
| 11. 政治に関する問題 | 41. 公共：青年期とは |
| 12. 政治に関する問題 | 42. 公共：自己形成の課題1 |
| 13. 政治に関する問題 | 43. 公共：自己形成の課題2 |
| 14. 政治に関する問題 | 44. 公共：職業生活と社会参加 |
| 15. 政治に関する問題 | 45. 公共：伝統・文化と私たち |
| 16. 政治に関する問題 | 46. 公共：古代ギリシアの人間像 |
| 17. 政治に関する問題 | 47. 公共：科学と人間 |
| 18. 政治に関する問題 | 48. 公共：自由の実現 |
| 19. 政治に関する問題 | 49. 公共：社会を作る人間 |
| 20. 政治に関する問題 | 50. 時事に関する問題 |
| 21. 政治に関する問題 | 51. 時事に関する問題 |
| 22. 政治に関する問題 | 52. 時事に関する問題 |
| 23. 政治に関する問題 | 53. 時事に関する問題 |
| 24. 政治に関する問題 | 54. 時事に関する問題 |
| 25. 政治に関する問題 | 55. 時事に関する問題 |
| 26. 経済に関する問題 | 56. 時事に関する問題 |
| 27. 経済に関する問題 | 57. 時事に関する問題 |
| 28. 経済に関する問題 | 58. 時事に関する問題 |
| 29. 経済に関する問題 | 59. 時事に関する問題 |
| 30. 経済に関する問題 | 60. 時事に関する問題 |

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

社会科学に関する標準的テキスト，種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	人文科学概論	開講年次	1年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

地理，世界史，日本史，文章理解分野について講義を展開する。人文科学の基本概念の理解を目標とする。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 地理：図法・地形・気候 1 | 21. 日本史：古代～中世史 1 |
| 2. 地理：図法・地形・気候 2 | 22. 日本史：古代～中世史 2 |
| 3. 地理：図法・地形・気候 3 | 23. 日本史：近世史 1 |
| 4. 地理：図法・地形・気候 4 | 24. 日本史：近世史 2 |
| 5. 地理：各国地誌 1 | 25. 日本史：近代史 1 |
| 6. 地理：各国地誌 2 | 26. 日本史：近代史 2 |
| 7. 地理：各国地誌 3 | 27. 日本史：現代史 |
| 8. 地理：各国地誌 4 | 28. 日本史：テーマ史 1 |
| 9. 地理：各国地誌 5 | 29. 日本史：テーマ史 2 |
| 10. 地理：各国地誌 6 | 30. 日本史：テーマ史 3 |
| 11. 世界史：古代～中世ヨーロッパ史 1 | 31. 文章理解：要旨把握 1 |
| 12. 世界史：古代～中世ヨーロッパ史 2 | 32. 文章理解：要旨把握 2 |
| 13. 世界史：中国・イスラム史 1 | 33. 文章理解：内容把握 1 |
| 14. 世界史：中国・イスラム史 2 | 34. 文章理解：内容把握 2 |
| 15. 世界史：中国・イスラム史 3 | 35. 文章理解：下線部把握 1 |
| 16. 世界史：近世ヨーロッパ史 1 | 36. 文章理解：下線部把握 2 |
| 17. 世界史：近世ヨーロッパ史 2 | 37. 文章理解：空欄補充 1 |
| 18. 世界史：近代ヨーロッパ史 1 | 38. 文章理解：空欄補充 2 |
| 19. 世界史：近代ヨーロッパ史 2 | 39. 文章理解：文整序 1 |
| 20. 世界史：現代史 | 40. 文章理解：文整序 2 |

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

地理，世界史，日本史，文章理解に関する標準的テキスト，種々の問題プリントおよび過去問題を中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	人文科学演習	開講年次	1年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

地理，世界史，日本史，文章理解分野について，種々の問題演習をおこなう。各種公務員試験の出題傾向を考慮しつつ，人文科学分野の総合的理解を深めることを目標とする。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 地理に関する問題 | 21. 日本史に関する問題 |
| 2. 地理に関する問題 | 22. 日本史に関する問題 |
| 3. 地理に関する問題 | 23. 日本史に関する問題 |
| 4. 地理に関する問題 | 24. 日本史に関する問題 |
| 5. 地理に関する問題 | 25. 日本史に関する問題 |
| 6. 地理に関する問題 | 26. 日本史に関する問題 |
| 7. 地理に関する問題 | 27. 日本史に関する問題 |
| 8. 地理に関する問題 | 28. 日本史に関する問題 |
| 9. 地理に関する問題 | 29. 日本史に関する問題 |
| 10. 地理に関する問題 | 30. 日本史に関する問題 |
| 11. 世界史に関する問題 | 31. 文章理解に関する問題 |
| 12. 世界史に関する問題 | 32. 文章理解に関する問題 |
| 13. 世界史に関する問題 | 33. 文章理解に関する問題 |
| 14. 世界史に関する問題 | 34. 文章理解に関する問題 |
| 15. 世界史に関する問題 | 35. 文章理解に関する問題 |
| 16. 世界史に関する問題 | 36. 文章理解に関する問題 |
| 17. 世界史に関する問題 | 37. 文章理解に関する問題 |
| 18. 世界史に関する問題 | 38. 文章理解に関する問題 |
| 19. 世界史に関する問題 | 39. 文章理解に関する問題 |
| 20. 世界史に関する問題 | 40. 文章理解に関する問題 |

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

地理，世界史，日本史，文章理解に関する標準的テキスト，種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	自然科学概論	開講年次	1年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

数学，物理，化学，生物，地学分野について講義を展開する。自然科学の基本概念の理解を目標とする。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 数学：数と式 1 | 21. 化学：物質の変化 2 |
| 2. 数学：数と式 2 | 22. 化学：物質の変化 3 |
| 3. 数学：方程式 1 | 23. 生物：遺伝子とそのはたらき 1 |
| 4. 数学：方程式 2 | 24. 生物：遺伝子とそのはたらき 2 |
| 5. 数学：不等式 1 | 25. 生物：遺伝子とそのはたらき 3 |
| 6. 数学：不等式 2 | 26. 生物：生物の体内環境の維持 1 |
| 7. 数学：関数 1 | 27. 生物：生物の体内環境の維持 2 |
| 8. 数学：関数 2 | 28. 生物：生物の体内環境の維持 3 |
| 9. 数学：三角比 1 | 29. 生物：生物の体内環境の維持 4 |
| 10. 数学：三角比 2 | 30. 生物：生物の体内環境の維持 5 |
| 11. 物理：力と運動の法則 1 | 31. 生物：生物の体内環境の維持 6 |
| 12. 物理：力と運動の法則 2 | 32. 地学：地球の構造 1 |
| 13. 物理：力と運動の法則 3 | 33. 地学：地球の構造 2 |
| 14. 物理：電気・磁気 1 | 34. 地学：地球の構造 3 |
| 15. 物理：電気・磁気 2 | 35. 地学：気象 1 |
| 16. 物理：電気・磁気 2 | 36. 地学：気象 2 |
| 17. 化学：物質の構成 1 | 37. 地学：気象 3 |
| 18. 化学：物質の構成 2 | 38. 地学：天体 1 |
| 19. 化学：物質の構成 3 | 39. 地学：天体 2 |
| 20. 化学：物質の変化 1 | 40. 地学：天体 3 |

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

数学・物理・化学・生物・地学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	自然科学演習	開講年次	1年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

数学、物理、化学、生物、地学分野について、種々の問題演習をおこなう。各種公務員試験の出題傾向を考慮しつつ、自然科学分野の総合的理解を深めることを目標とする。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 数学に関する問題 | 21. 化学に関する問題 |
| 2. 数学に関する問題 | 22. 化学に関する問題 |
| 3. 数学に関する問題 | 23. 生物に関する問題 |
| 4. 数学に関する問題 | 24. 生物に関する問題 |
| 5. 数学に関する問題 | 25. 生物に関する問題 |
| 6. 数学に関する問題 | 26. 生物に関する問題 |
| 7. 数学に関する問題 | 27. 生物に関する問題 |
| 8. 数学に関する問題 | 28. 生物に関する問題 |
| 9. 数学に関する問題 | 29. 生物に関する問題 |
| 10. 数学に関する問題 | 30. 生物に関する問題 |
| 11. 物理に関する問題 | 31. 生物に関する問題 |
| 12. 物理に関する問題 | 32. 地学に関する問題 |
| 13. 物理に関する問題 | 33. 地学に関する問題 |
| 14. 物理に関する問題 | 34. 地学に関する問題 |
| 15. 物理に関する問題 | 35. 地学に関する問題 |
| 16. 物理に関する問題 | 36. 地学に関する問題 |
| 17. 化学に関する問題 | 37. 地学に関する問題 |
| 18. 化学に関する問題 | 38. 地学に関する問題 |
| 19. 化学に関する問題 | 39. 地学に関する問題 |
| 20. 化学に関する問題 | 40. 地学に関する問題 |

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

数学・物理・化学・生物・地学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	社会科学演習 I B	開講年次	2年	授業時数	80	単位数	4
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

法学および政治・経済・現代社会分野について、相互関連性に注目しながら、基本概念についての理解を目指し、さらに総合的理解を深めるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 政治：民主政治の基本原則 1 | 41. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 1 |
| 2. 政治：民主政治の基本原則 2 | 42. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 2 |
| 3. 政治：民主政治の基本原則 3 | 43. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 3 |
| 4. 政治：民主政治の基本原則 4 | 44. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 4 |
| 5. 政治：日本国憲法の基本的性格 1 | 45. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 5 |
| 6. 政治：日本国憲法の基本的性格 2 | 46. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 6 |
| 7. 政治：日本国憲法の基本的性格 3 | 47. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 7 |
| 8. 政治：日本国憲法の基本的性格 4 | 48. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 8 |
| 9. 政治：日本の統治機構 1 | 49. 現代社会：現代の民主政治 1 |
| 10. 政治：日本の統治機構 2 | 50. 現代社会：現代の民主政治 2 |
| 11. 政治：日本の統治機構 3 | 51. 現代社会：現代の民主政治 3 |
| 12. 政治：日本の統治機構 4 | 52. 現代社会：現代の民主政治 4 |
| 13. 政治：日本の政治の現状と問題 1 | 53. 現代社会：現代の民主政治 5 |
| 14. 政治：日本の政治の現状と問題 2 | 54. 現代社会：現代の民主政治 6 |
| 15. 政治：日本の政治の現状と問題 3 | 55. 現代社会：現代の民主政治 7 |
| 16. 政治：日本の政治の現状と問題 4 | 56. 現代社会：現代の民主政治 8 |
| 17. 政治：国際社会 1 | 57. 現代社会：現代社会と私たち 1 |
| 18. 政治：国際社会 2 | 58. 現代社会：現代社会と私たち 2 |
| 19. 政治：国際社会 3 | 59. 現代社会：現代社会と私たち 3 |
| 20. 政治：国際社会 4 | 60. 現代社会：現代社会と私たち 4 |
| 21. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 1 | 61. 現代社会：現代社会と私たち 5 |
| 22. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 2 | 62. 現代社会：現代社会と私たち 6 |
| 23. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 3 | 63. 現代社会：現代社会と私たち 7 |
| 24. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 4 | 64. 現代社会：現代社会と私たち 8 |
| 25. 経済：経済のしくみ (2) 1 | 65. 現代社会：国際社会の動向と日本 1 |
| 26. 経済：経済のしくみ (2) 2 | 66. 現代社会：国際社会の動向と日本 2 |
| 27. 経済：経済のしくみ (2) 3 | 67. 現代社会：国際社会の動向と日本 3 |
| 28. 経済：経済のしくみ (2) 4 | 68. 現代社会：国際社会の動向と日本 4 |
| 29. 経済：経済の発展と福祉の向上 1 | 69. 現代社会：国際社会の動向と日本 5 |
| 30. 経済：経済の発展と福祉の向上 2 | 70. 現代社会：国際社会の動向と日本 6 |
| 31. 経済：経済の発展と福祉の向上 3 | 71. 現代社会：国際社会の動向と日本 7 |
| 32. 経済：経済の発展と福祉の向上 4 | 72. 現代社会：国際社会の動向と日本 8 |
| 33. 憲法：憲法前文～第 103 条 1 | 73. 総合演習 1 |
| 34. 憲法：憲法前文～第 103 条 2 | 74. 総合演習 2 |
| 35. 憲法：憲法前文～第 103 条 3 | 75. 総合演習 3 |
| 36. 憲法：憲法前文～第 103 条 4 | 76. 総合演習 4 |
| 37. 憲法：法学概論 1 | 77. 総合演習 5 |
| 38. 憲法：法学概論 2 | 78. 総合演習 6 |
| 39. 憲法：法学概論 3 | 79. 総合演習 7 |
| 40. 憲法：法学概論 4 | 80. 総合演習 8 |

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

政治・経済・現代社会・憲法に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	人文科学演習 I	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

日本史、国語、世界史、地理分野の人文科学に関する総合的理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 日本史：古代 | 21. 世界史：古代文明 |
| 2. 日本史：平安・鎌倉・南北朝時代 | 22. 世界史：東アジア文化圏の形成 |
| 3. 日本史：室町・安土桃山時代1 | 23. 世界史：イスラム・明清・オスマン朝1 |
| 4. 日本史：室町・安土桃山時代2 | 24. 世界史：イスラム・明清・オスマン朝2 |
| 5. 日本史：江戸時代（1） | 25. 世界史：ヨーロッパ世界の形成と変動1 |
| 6. 日本史：江戸時代（2） | 26. 世界史：ヨーロッパ世界の形成と変動2 |
| 7. 日本史：江戸時代（3）・明治時代（1） | 27. 世界史：近代ヨーロッパと絶対王政 |
| 8. 日本史：明治時代（2）・大正時代（1） | 28. 世界史：市民社会の成立と近代国家 |
| 9. 日本史：大正時代（2）・昭和時代（1） | 29. 世界史：帝国主義とアジア地域の動揺 |
| 10. 日本史：昭和時代（2） | 30. 世界史：世界大戦前後の世界 |
| 11. 国語：四字熟語 | 31. 地理：現代世界の地理的考察1 |
| 12. 国語：故事成語 | 32. 地理：現代世界の地理的考察2 |
| 13. 国語：慣用句 | 33. 地理：地形と気候1 |
| 14. 国語：ことわざ | 34. 地理：地形と気候2 |
| 15. 国語：難読語 | 35. 地理：農業・漁業・林業1 |
| 16. 国語：同音異義語1 | 36. 地理：農業・漁業・林業2 |
| 17. 国語：同音異義語2 | 37. 地理：鉱工業・貿易1 |
| 18. 国語：同訓異義語1 | 38. 地理：鉱工業・貿易2 |
| 19. 国語：同訓異義語2 | 39. 地理：現代世界の地誌的考察（1） |
| 20. 国語：誤りやすいことば | 40. 地理：現代世界の地誌的考察（2） |
- ※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

日本史・国語・世界史・地理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	自然科学演習 I	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

数学・物理・化学・生物・地学分野の自然科学に関する総合的理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 数学：数と式 | 21. 化学：物質を構成する粒子 2 |
| 2. 数学：方程式 | 22. 化学：物質の変化 1 |
| 3. 数学：不等式 | 23. 化学：物質の変化 2 |
| 4. 数学：関数 1 | 24. 化学：イオン化傾向・非金属元素 |
| 5. 数学：関数 2 | 25. 化学：金属元素 |
| 6. 数学：平面と座標 1 | 26. 化学：有機化合物 |
| 7. 数学：平面と座標 2 | 27. 生物：動物の行動・生物の進 |
| 8. 数学：角と三角形 1 | 28. 生物：細胞と組織 |
| 9. 数学：角と三角形 2 | 29. 生物：酵素の働き・光合成 1 |
| 10. 物理：力と運動の法則 1 | 30. 生物：酵素の働き・光合成 2 |
| 11. 物理：力と運動の法則 2 | 31. 生物：生物体のつくり |
| 12. 物理：物体の運動 1 | 32. 生物：ホルモン・環境と植物 1 |
| 13. 物理：物体の運動 2 | 33. 生物：ホルモン・環境と植物 2 |
| 14. 物理：エネルギー | 34. 生物：遺伝 1 |
| 15. 物理：波動 | 35. 生物：遺伝 2 |
| 16. 物理：電気・磁気 1 | 36. 地学：地球の姿・地表の変化 1 |
| 17. 物理：電気・磁気 2 | 37. 地学：地球の姿・地表の変化 2 |
| 18. 化学：物質の構成 1 | 38. 地学：地層・地殻・大気・海洋 1 |
| 19. 化学：物質の構成 2 | 39. 地学：地層・地殻・大気・海洋 2 |
| 20. 化学：物質を構成する粒子 1 | 40. 地学：宇宙の構成 |

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

数学・物理・化学・生物・地学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	論作文 I	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

社会人としての心構えや社会常識、論理的思考力・判断力・分析力および感受性・表現力の基本を、文章を書くことによって養うことを目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 社会人像に関する基本的課題 1 | 21. 社会人像に関する基本的課題 1 1 |
| 2. 社会人像に関する基本的課題 2 | 22. 社会人像に関する基本的課題 1 2 |
| 3. 社会人像に関する基本的課題 3 | 23. 学校生活に関する基本的課題 6 |
| 4. 社会人像に関する基本的課題 4 | 24. 学校生活に関する基本的課題 7 |
| 5. 社会人像に関する基本的課題 5 | 25. 学校生活に関する基本的課題 8 |
| 6. 学校生活に関する基本的課題 1 | 26. 学校生活に関する基本的課題 9 |
| 7. 学校生活に関する基本的課題 2 | 27. 学校生活に関する基本的課題 1 0 |
| 8. 学校生活に関する基本的課題 3 | 28. 学校生活に関する基本的課題 1 1 |
| 9. 学校生活に関する基本的課題 4 | 29. 学校生活に関する基本的課題 1 2 |
| 10. 学校生活に関する基本的課題 5 | 30. 人生観・生き方に関する基本的課題 6 |
| 11. 人生観・生き方に関する基本的課題 1 | 31. 人生観・生き方に関する基本的課題 7 |
| 12. 人生観・生き方に関する基本的課題 2 | 32. 人生観・生き方に関する基本的課題 8 |
| 13. 人生観・生き方に関する基本的課題 3 | 33. 人生観・生き方に関する基本的課題 9 |
| 14. 人生観・生き方に関する基本的課題 4 | 34. 人生観・生き方に関する基本的課題 1 0 |
| 15. 人生観・生き方に関する基本的課題 5 | 35. 人生観・生き方に関する基本的課題 1 1 |
| 16. 社会人像に関する基本的課題 6 | 36. 人生観・生き方に関する基本的課題 1 2 |
| 17. 社会人像に関する基本的課題 7 | 37. 総合的課題 1 |
| 18. 社会人像に関する基本的課題 8 | 38. 総合的課題 2 |
| 19. 社会人像に関する基本的課題 9 | 39. 総合的課題 3 |
| 20. 社会人像に関する基本的課題 1 0 | 40. 総合的課題 4 |

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

論作文に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に課する種々のレポート、学期末試験、出席等を総合して判断する。論作文の成果物、レポート等の内容を中心に評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	時事研究 I	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

最新の国内・外の主要な時事問題について、時事用語の理解に重点をおきながら分析し、理解を深めることを目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 政治・経済分野 1 | 21. 科学・技術分野 1 |
| 2. 政治・経済分野 2 | 22. 科学・技術分野 2 |
| 3. 政治・経済分野 3 | 23. 科学・技術分野 3 |
| 4. 政治・経済分野 4 | 24. 科学・技術分野 4 |
| 5. 政治・経済分野 5 | 25. 科学・技術分野 5 |
| 6. 国際関係分野 1 | 26. 自然・環境分野 1 |
| 7. 国際関係分野 2 | 27. 自然・環境分野 2 |
| 8. 国際関係分野 3 | 28. 自然・環境分野 3 |
| 9. 国際関係分野 4 | 29. 自然・環境分野 4 |
| 10. 国際関係分野 5 | 30. 自然・環境分野 5 |
| 11. 社会・生活分野 1 | 31. 文化・スポーツ分野 1 |
| 12. 社会・生活分野 2 | 32. 文化・スポーツ分野 2 |
| 13. 社会・生活分野 3 | 33. 文化・スポーツ分野 3 |
| 14. 社会・生活分野 4 | 34. 文化・スポーツ分野 4 |
| 15. 社会・生活分野 5 | 35. 文化・スポーツ分野 5 |
| 16. 産業・労働分野 1 | 36. 総合 1 |
| 17. 産業・労働分野 2 | 37. 総合 2 |
| 18. 産業・労働分野 3 | 38. 総合 3 |
| 19. 産業・労働分野 4 | 39. 総合 4 |
| 20. 産業・労働分野 5 | 40. 総合 5 |

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

時事用語集、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	キャリアデザイン	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

社会でどのように働き、どのように社会で自立して生きていくのかを考え、キャリアデザインの重要性を理解したうえで、社会で求められる人材であることをきちんと表現することのできる力を養成することを目標とする。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 自己分析 1 | 21. エントリーシート・履歴書作成 3 |
| 2. 自己分析 2 | 22. エントリーシート・履歴書作成 4 |
| 3. 自己分析 3 | 23. エントリーシート・履歴書作成 5 |
| 4. 自己分析 4 | 24. エントリーシート・履歴書作成 6 |
| 5. 自己分析 5 | 25. 模擬面接 1 |
| 6. 自己分析 6 | 26. 模擬面接 2 |
| 7. 志望動機作成 1 | 27. 模擬面接 3 |
| 8. 志望動機作成 2 | 28. 模擬面接 4 |
| 9. 志望動機作成 3 | 29. 模擬面接 5 |
| 10. 志望動機作成 4 | 30. 模擬面接 6 |
| 11. 志望動機作成 5 | 31. 模擬面接 7 |
| 12. 志望動機作成 6 | 32. 模擬面接 8 |
| 13. 自己PR作成 1 | 33. 模擬面接 9 |
| 14. 自己PR作成 2 | 34. 模擬面接 10 |
| 15. 自己PR作成 3 | 35. 模擬面接 11 |
| 16. 自己PR作成 4 | 36. 模擬面接 12 |
| 17. 自己PR作成 5 | 37. 模擬面接 13 |
| 18. 自己PR作成 6 | 38. 模擬面接 14 |
| 19. エントリーシート・履歴書作成 1 | 39. 模擬面接 15 |
| 20. エントリーシート・履歴書作成 2 | 40. 模擬面接 16 |

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

履歴書の作成や面接対策に関する資料及び官公庁・企業のホームページ並びに資料を中心とする。

〔成績評価〕

事前準備の取り組み状況、出席状況、作成したエントリーシートや履歴書の内容等並びに模擬面接での受け答えを総合評価する。

科目名	社会科学概論Ⅱ	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

政治経済及び時事に関連する講義を通じて、基本的な物事や概念の正確な理解を確認するとともに、より高度な知識習得を目指す。同時に、複雑な問題の解決に取り組むことで、人格の涵養を目指す。

〔講義・演習項目〕

- 1～7：政治（過去問題に関する解説）
- 8～14：経済（過去問題に関する解説）
- 15～20：時事（過去問題に関する解説）

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

政治経済及び時事に関する標準的テキスト、種々の問題プリントおよび過去問題を中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	社会科学演習Ⅳ	開講年次	2年	授業時数	80	単位数	4
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

政治経済，公共，時事に関連する国家公務員試験および地方公務員試験の過去問題演習を通して出題傾向を分析し，より実践的な知識の習得を目指す。また，演習を通じて各分野における諸問題への理解を深め，実社会の問題にも応用できる能力を養う。

〔講義・演習項目〕

- 1～45：過去問題演習（政治）
- 46～60：過去問題演習（経済）
- 61～69：過去問題演習（公共）
- 70～80：過去問題演習（時事）

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

政治経済，公共，時事に関する国家公務員試験，地方公務員試験の過去問題を中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	人文科学概論Ⅲ	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

地理，世界史，日本史，文章理解に関連する講義を通じて，基本的な物事や概念の正確な理解を確認するとともに，より高度な知識習得を目指す。同時に，複雑な問題の解決に取り組むことで，人格の涵養を目指す。

〔講義・演習項目〕

- 1～5：地理（過去問題に関する解説）
- 6～10：世界史（過去問題に関する解説）
- 11～15：日本史（過去問題に関する解説）
- 16～20：文章理解（過去問題に関する解説）

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

地理，世界史，日本史，文章理解に関する標準的テキスト，種々の問題プリントおよび過去問題を中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に課する種々のレポート、学期末試験、出席等を総合して判断する。論作文の成果物、レポート等の内容を中心に評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	人文科学演習V	開講年次	2年	授業時数	80	単位数	4
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

地理，世界史，日本史，文章理解に関連する国家公務員試験および地方公務員試験の過去問題演習を通して出題傾向を分析し，より実践的な知識の習得を目指す。また，演習を通じて各分野における諸問題への理解を深め，実社会の問題にも応用できる能力を養う。

〔講義・演習項目〕

- 1～20：過去問題演習（地理）
- 21～40：過去問題演習（世界史）
- 41～60：過去問題演習（日本史）
- 61～80：過去問題演習（文章理解）

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

地理，世界史，日本史，文章理解に関する種々のプリントおよび国家公務員試験，地方公務員試験の過去問題を中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	自然科学概論Ⅲ	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

数学，物理，化学，生物，地学に関連する講義を通じて，基本的な物事や概念の正確な理解を確認するとともに，より高度な知識習得を目指す。同時に，複雑な問題の解決に取り組むことで，人格の涵養を目指す。

〔講義・演習項目〕

- 1～4：数学（過去問題に関する解説）
- 5～8：物理（過去問題に関する解説）
- 9～12：化学（過去問題に関する解説）
- 13～16：生物（過去問題に関する解説）
- 17～20：地学（過去問題に関する解説）

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

数学，物理，化学，生物，地学に関する標準的テキスト，種々の問題プリントおよび過去問題を中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト，学期末試験，出席等を総合して判断する。具体的には，単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%，学期末試験が50%の割合で評価する。ただし，出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は，評価を受けることができない。

科目名	自然科学演習Ⅳ	開講年次	2年	授業時数	80	単位数	4
		種 類	一般科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

数学，物理，化学，生物，地学に関連する国家公務員試験および地方公務員試験の過去問題演習を通して出題傾向を分析し，より実践的な知識の習得を目指す。また，演習を通じて各分野における諸問題への理解を深め，実社会の問題にも応用できる能力を養う。

〔講義・演習項目〕

1～16：過去問題演習（数学）
 17～32：過去問題演習（物理）
 33～48：過去問題演習（化学）
 49～64：過去問題演習（生物）
 65～80：過去問題演習（地学）

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

数学，物理，化学，生物，地学に関する種々のプリントおよび国家公務員試験，地方公務員試験の過去問題を中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト，学期末試験，出席等を総合して判断する。具体的には，単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%，学期末試験が50%の割合で評価する。ただし，出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は，評価を受けることができない。

科目名	職業実務 I A	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1
		種 類	専門科目	分 類	必修	授業方法	演習
		担当教員	実務経験のある教員 (現役自衛官) [担当教員紹介] 担当教員は、京都地方協力本部地区隊長であり、広報として 様々な学生指導経験がある。また、実務経験に基づいて実践的な 授業を展開する。				

〔講義主要目標及び講義概要〕

将来的に公務員として働くために実践的な訓練をフィールドワークで学ぶ。また、職種や組織を理解することで社会人になるにあたっての職業知識を深め公務員としての心構えを身につける。

〔講義・演習項目〕

1. 施設見学 1
2. 施設見学 2
3. 施設見学 3
4. フィールドワーク 1
5. フィールドワーク 2
6. フィールドワーク 3
7. フィールドワーク 4
8. フィールドワーク 5
9. フィールドワーク 6
10. フィールドワーク 7
11. 組織の概要 1
12. 組織の概要 2
13. さまざまな職種 (陸上自衛隊) 1
14. さまざまな職種 (陸上自衛隊) 2
15. さまざまな職種 (海上自衛隊) 1
16. さまざまな職種 (海上自衛隊) 2
17. さまざまな職種 (航空自衛隊) 1
18. さまざまな職種 (航空自衛隊) 2
19. グループワーク 1
20. グループワーク 2

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

官公庁、企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。

〔成績評価〕

ディスカッションでの発言等授業への取り組み状況、レポートおよびその発表内容を総合評価する。

科目名	職業実務ⅡA	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	必修	授業方法	演習
		担当教員	実務経験のある教員 (現役自衛官) [担当教員紹介] 担当教員は、実務経験に基づいて部隊での研修や実績を有した方々でありそれぞれの専門知識を生かした実践的な授業を展開する。				

〔講義主要目標及び講義概要〕

就職を目前に控え公務員として有事の際の活動の一環として、災害時の活動を学び実際に演習を通じて必要性と重要性を理解しスキルの習得を行う。

〔講義・演習項目〕

1. 災害時における活動内容 1
2. 災害時における活動内容 2
3. 災害時における活動内容 3
4. 災害時における活動内容 4
5. 救護方法演習 (止血) 1
6. 救護方法演習 (止血) 2
7. 救護方法演習 (止血) 3
8. 救護方法演習 (止血) 4
9. 救護方法演習 (骨折) 1
10. 救護方法演習 (骨折) 2
11. 救護方法演習 (骨折) 3
12. 救護方法演習 (骨折) 4
13. 救護方法演習 (搬送方法) 1
14. 救護方法演習 (搬送方法) 2
15. 救護方法演習 (搬送方法) 3
16. 救護方法演習 (搬送方法) 4
17. レポート作成 1
18. レポート作成 2
19. グループワーク 1
20. グループワーク 2

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

官公庁、企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。

〔成績評価〕

ディスカッションでの発言等授業への取り組み状況、レポートおよびその発表内容を総合評価する。

科目名	判断推理 I	開講年次	1年	授業時数	60	単位数	3
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	田口聖、濱里健史郎、山野勝和				

〔講義主要目標及び講義概要〕

文章・記号・図形等による推理力・判断力を中心とした判断推理の領域における種々の問題を演習する。判断推理分野に対応する基礎力を養うことを目標とする。

〔講義・演習項目〕

1～7：集合
8～15：論理命題
16～22：対応関係
23～29：試合と勝敗
30～37：証言推理
38～45：順序関係
46～53：方位・位置
54～60：数量推理

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

判断推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	数的推理 I	開講年次	1 年	授業時数	60	単位数	3
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	田口聖、濱里健史郎、山野勝和				

〔講義主要目標及び講義概要〕

数による推理力・判断力や処理能力および数学的な計算力を中心とした数的推理の領域における種々の問題を演習する。数的推理分野に対応する基礎力を養うことを目標とする。

〔講義・演習項目〕

- 1～5：濃度算
- 6～10：資料解釈（実数）
- 11～15：数
- 16～20：比・割合
- 21～24：資料解釈（指数）
- 25～36：時間・距離・速さ
- 37～40：資料解釈（構成比）
- 41～45：仕事算
- 46～49：資料解釈（増加率・折れ線グラフ）
- 50～58：場合の数
- 59～60：資料解釈（その他のグラフ）

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

数的推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	ビジネスマナー I	開講年次	1年	授業時数	40	単位数	2
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	田口聖、濱里健史郎、山野勝和				

〔講義主要目標及び講義概要〕

卒業後の進路選択を考える前段階として、日々の学生生活を有意義なものとする意識の高揚を目指すとともにビジネス実務の遂行に必要な一般的な知識の習得および一般的な業務を行うのに必要な知識・技能の習得を目指す。

〔講義・演習項目〕

- 1：職業についての考え方
- 2：就職を取り巻く社会状況の分析
- 3：就職活動の予備知識
- 4～5：企業研究・官公庁研究の方法
- 6～7：自己分析の仕方
- 8～10：礼儀・マナー・敬語表現の知識
- 11～15：ビデオ等による事例研究
- 16～20：面接練習
- 21～22：社会人として必要とされる資質
- 23～24：企業知識・一般知識
- 25～27：社交としての文書の作成
- 28～30：営業の文書の作成
- 31～33：社内の一般文書の作成
- 34～36：文書の取り扱い
- 37～38：慶事・弔事に関する作法・服装・式次第等の知識
- 39～40：交際業務に関する知識

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

種々のプリント、ビデオ等を中心とする。ビジネス能力検定に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、ビジネス能力検定、出席等を総合して判断する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	トレーニング演習 I	開講年次	1年	授業時数	20	単位数	1
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	田口聖、濱里健史郎、山野勝和				

〔講義主要目標及び講義概要〕

正しい器具の使用法・効果的なエクササイズを学び、実践する。筋力アップなど総合的な体力の向上を目標とする。

〔講義・演習項目〕

- 1：オリエンテーション
- 2～3：筋力敏捷性・瞬発力等の測定
- 4～5：形態測定
- 6～8：有酸素系マシンの使用法と実践
- 9～11：ウェイトトレーニングマシンの使用法と実践
- 12～13：最大筋力の測定
- 14～16：各自の目標設定
- 17～20：トレーニングの実践

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

テキストは使用しない。

〔成績評価〕

授業期間中に実施されるトレーニング課題の進捗状況、種々のテスト、出席等を総合して判断する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	判断推理Ⅱ	開講年次	1年	授業時数	60	単位数	3
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	田口聖、濱里健史郎、山野勝和				

〔講義主要目標及び講義概要〕

文章・記号・図形等による推理力・判断力を中心とした判断推理の領域および平面図形・展開図等による視覚能力・想像力を中心とした空間把握の領域における種々の問題を演習する。判断推理および空間把握分野に対応する基礎力を養うことを目標とする。

〔講義・演習項目〕

- 1～3：対応関係
- 4～6：証言推理
- 7～9：順序関係
- 10～12：方位・位置
- 13～15：数量推理・手順
- 16～18：平面図形
- 19～21：軌跡
- 22～24：投影図
- 25～40：展開図
- 41～43：折り紙
- 44～50：立体図形
- 51～53：位相・道順
- 54～60：総合演習

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

判断推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	数的推理Ⅱ	開講年次	1年	授業時数	60	単位数	3
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	田口聖、濱里健史郎、山野勝和				

〔講義主要目標及び講義概要〕

数による推理力・判断力や処理能力および数学的な計算力を中心とした数的推理の領域における種々の問題を演習する。数的推理分野に対応する基礎力を養うことを目標とする。

〔講義・演習項目〕

1～12：確率
 13～18：方程式・不等式
 19～20：図形の基礎
 21～28：三角形
 29～34：四角形・多角形
 35～39：円
 40～44：空間図形
 45～60：資料解釈

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

数的推理，資料解釈に関する標準的テキスト，種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	総合人間科学概論 I	開講年次	1年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	田口聖、濱里健史郎、山野勝和				

〔講義主要目標及び講義概要〕

法務省専門職員（人間科学）採用試験で出題される社会学，教育学，心理学に関する基礎知識を学んだうえで，公務員試験に出題される問題レベルに対応できる実力を養成する。

〔講義・演習項目〕

1～5：社会学
6～10：教育学
11～15：心理学
16～20：総合演習

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

社会学，教育学，心理学に関する標準的テキスト，種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	職業実務 I B	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1																				
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習																				
		担当教員	<p>実務経験のある教員 (現役京都地方検察庁職員)、(現役大阪税関職員)、 (現役海上保安官) 〔担当教員紹介〕</p> <p>担当教員の一人は、現役京都地方検察庁職員であり庁舎訪問を通じて仕事のイメージを具体化する授業を展開する。</p> <p>担当教員のもう一人は、現役大阪税関職員であり公務の内容を実技で学ぶ授業を展開する。</p> <p>担当教員のもう一人は、現役海上保安官であり第八管区内の施設や業務紹介を質疑応答形式で行う。また、我が国における海上保安の重要性を伝えて学生の間から海上保安に携わる大切さを伝える形で授業を展開する。</p>																								
<p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>国家公務員の事務職の仕事内容をフィールドワークで学ぶ。また、国家公務員の公安職の仕事内容を理解することで学生が目指す公務員像を具体的にしていく。</p>																											
<p>〔講義・演習項目〕</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 検察庁の仕事 1</td> <td>11. 麻薬探知犬によるトレーニング</td> </tr> <tr> <td>2. 検察庁の仕事 2</td> <td>12. レポート作成</td> </tr> <tr> <td>3. 実務に携わる卒業生とのディスカッション 1</td> <td>13. 海上保安庁の活動内容 1</td> </tr> <tr> <td>4. 実務に携わる卒業生とのディスカッション 2</td> <td>14. 海上保安庁の活動内容 2</td> </tr> <tr> <td>5. 施設見学 1</td> <td>15. 海上保安官の仕事 1</td> </tr> <tr> <td>6. 施設見学 2</td> <td>16. 海上保安官の仕事 2</td> </tr> <tr> <td>7. 施設見学 3</td> <td>17. 現役海上保安官とのディスカッション</td> </tr> <tr> <td>8. レポート作成</td> <td>18. 海上保安学校について</td> </tr> <tr> <td>9. 税関業務</td> <td>19. レポート作成</td> </tr> <tr> <td>10. 実務に携わる卒業生とのディスカッション</td> <td>20. グループワーク</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※ 時数不足の場合は課題として提出</p>								1. 検察庁の仕事 1	11. 麻薬探知犬によるトレーニング	2. 検察庁の仕事 2	12. レポート作成	3. 実務に携わる卒業生とのディスカッション 1	13. 海上保安庁の活動内容 1	4. 実務に携わる卒業生とのディスカッション 2	14. 海上保安庁の活動内容 2	5. 施設見学 1	15. 海上保安官の仕事 1	6. 施設見学 2	16. 海上保安官の仕事 2	7. 施設見学 3	17. 現役海上保安官とのディスカッション	8. レポート作成	18. 海上保安学校について	9. 税関業務	19. レポート作成	10. 実務に携わる卒業生とのディスカッション	20. グループワーク
1. 検察庁の仕事 1	11. 麻薬探知犬によるトレーニング																										
2. 検察庁の仕事 2	12. レポート作成																										
3. 実務に携わる卒業生とのディスカッション 1	13. 海上保安庁の活動内容 1																										
4. 実務に携わる卒業生とのディスカッション 2	14. 海上保安庁の活動内容 2																										
5. 施設見学 1	15. 海上保安官の仕事 1																										
6. 施設見学 2	16. 海上保安官の仕事 2																										
7. 施設見学 3	17. 現役海上保安官とのディスカッション																										
8. レポート作成	18. 海上保安学校について																										
9. 税関業務	19. レポート作成																										
10. 実務に携わる卒業生とのディスカッション	20. グループワーク																										
<p>〔テキスト〕</p> <p>官公庁、企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。</p>																											
<p>〔成績評価〕</p> <p>ディスカッションでの発言等授業への取り組み状況、レポートおよびその発表内容、確認テストの点数を総合評価する。</p>																											

科目名	職業実務 I C	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1		
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習		
		担当教員	実務経験のある教員 (現役日本年金機構職員)、(現役近畿財務局職員) [担当教員紹介] 担当教員の一人は、現役日本年金機構職員であり公的年金の仕組みや20歳になってからの手続きを中心に授業を展開する。 担当教員のもう一人は、現役近畿財務局職員であり実際の公務内容を学ぶ。また、グループワークを通じて国家予算作成およびプレゼンテーションで多角的な考察を深める授業を展開する。						
[講義主要目標及び講義概要] 社会保険、年金や税金の種類および国家予算については社会人として知っておかなければならない事柄であるが、学生のうちにそれを学ぶ機会はほとんどない。そこで、それぞれの実務に精通した担当講師が、実例に基づいてわかりやすく解説をし、それらの必要性・重要性を理解し、社会に出て困らないような知識を修得する。									
[講義・演習項目] <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 1. 公的年金制度 1 2. 公的年金制度 2 3. 公的年金の種類 1 4. 公的年金の種類 2 5. 保険料の納め方 6. 免除制度 7. 公的年金の疑問 (質疑応答) 1 8. 公的年金の疑問 (質疑応答) 2 9. グループワーク 10. レポート作成 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 11. 日本の財政 1 12. 日本の財政 2 13. 財政を支える税金 1 14. 財政を支える税金 2 15. 国の借金 16. 財政のバランス 17. グループワーク 1 18. グループワーク 2 19. プレゼンテーション 20. レポート作成 </td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※ 時数不足の場合は課題として提出</p>								1. 公的年金制度 1 2. 公的年金制度 2 3. 公的年金の種類 1 4. 公的年金の種類 2 5. 保険料の納め方 6. 免除制度 7. 公的年金の疑問 (質疑応答) 1 8. 公的年金の疑問 (質疑応答) 2 9. グループワーク 10. レポート作成	11. 日本の財政 1 12. 日本の財政 2 13. 財政を支える税金 1 14. 財政を支える税金 2 15. 国の借金 16. 財政のバランス 17. グループワーク 1 18. グループワーク 2 19. プレゼンテーション 20. レポート作成
1. 公的年金制度 1 2. 公的年金制度 2 3. 公的年金の種類 1 4. 公的年金の種類 2 5. 保険料の納め方 6. 免除制度 7. 公的年金の疑問 (質疑応答) 1 8. 公的年金の疑問 (質疑応答) 2 9. グループワーク 10. レポート作成	11. 日本の財政 1 12. 日本の財政 2 13. 財政を支える税金 1 14. 財政を支える税金 2 15. 国の借金 16. 財政のバランス 17. グループワーク 1 18. グループワーク 2 19. プレゼンテーション 20. レポート作成								
[テキスト] 官公庁、企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。									
[成績評価] ディスカッションでの発言等授業への取り組み状況、レポートおよびその発表内容、確認テストの点数を総合評価する。									

科目名	職業実務 I D	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	実務経験のある教員 (現役京都府警察官) [担当教員紹介] 担当教員は現役京都府警察官であり、サイバー犯罪についての啓発活動を通して犯罪を予防し、また警察の業務を学ぶ授業を展開する。				
<p>[講義主要目標及び講義概要]</p> <p>スマートフォンの普及によってインターネット上での犯罪やトラブルに巻き込まれることが増えているが、ネットトラブルに対する知識を学ぶことでトラブルを回避する力を身に付けることを目的とする。</p>							
<p>[講義・演習項目]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. サイバー犯罪について 1 2. サイバー犯罪について 2 3. サイバー犯罪について 3 4. 情報セキュリティ対策 1 5. 情報セキュリティ対策 2 6. 情報セキュリティ対策 3 7. SNSに起因するトラブルの実例 1 8. SNSに起因するトラブルの実例 2 9. SNSに起因するトラブルの実例 3 10. SNSに起因するトラブルの実例 4 11. SNSトラブルに巻き込まれないポイント 1 12. SNSトラブルに巻き込まれないポイント 2 13. フィッシングメール 1 14. フィッシングメール 2 15. 偽ショッピングサイト 1 16. 偽ショッピングサイト 2 17. サポート詐欺 1 18. サポート詐欺 2 19. グループディスカッション 20. レポート作成 <p style="text-align: right;">※ 時数不足の場合は課題として提出</p>							
<p>[テキスト]</p> <p>官公庁、企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。</p>							
<p>[成績評価]</p> <p>ワークシート作成等授業への取り組み状況、レポートおよびその内容、確認テストの点数を総合評価する。</p>							

科目名	キャリアデザイン I	開講年次	1 年	授業時数	40	単位数	2
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	実務経験のある教員 (官公庁の人事担当者)				

〔講義主要目標及び講義概要〕

官公庁職員による講演を聞き，さらに官公庁訪問を通じて5年後，10年後の将来の自分像を具体的にイメージさせることを目標とする。

〔講義・演習項目〕

1～40：官公庁講演（庁舎見学を含む）およびレポート作成

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

官公庁で発行されているパンフレットや官公庁ならびに職種に関するガイドブック等および種々のプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト，レポート等と学期末試験，出席等を総合して判断する。

科目名	キャリアデザインⅡ	開講年次	1年	授業時数	40	単位数	2
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	実務経験のある教員 (官公庁の人事担当者)				

〔講義主要目標及び講義概要〕

さまざまな公務員の職種等についての知見を得て、自らが志望する官公庁や職種を決定し、その志望先に就職することができるために必要な情報の収集と分析、整理を行うことで、就職先の理解を深める。

〔講義・演習項目〕

- 1～3：公務員総合ガイダンス
- 4～7：国家公務員について
- 8～11：都道府県職員について
- 12～15：市区町村職員について
- 16～20：警察官について
- 21～24：消防官について
- 25～28：自衛隊について
- 29～30：その他の公務員について
- 31～40：志望する官公庁・職種についての研究

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

官公庁で発行されているパンフレットや官公庁ならびに職種に関するガイドブック等、種々のプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、レポート等と学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名	キャリアプランニング I	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	田口聖、濱里健史郎、山野勝和				

〔講義主要目標及び講義概要〕

文章作成の基本をしっかり身につけ、読み手にきちんと伝わる文章を作成できる力を養成する。また、培った文章作成能力を踏まえて、口頭でも相手に自分の考え等をきちんと伝えことのできる力も養成する。

〔講義・演習項目〕

- 1：文章構成
- 2～4：作文練習（100～300文字）
- 5～8：作文練習（100～600文字）
- 9～15：作文練習（600～1000文字）
- 16：面接マナーと言葉遣い
- 17～18：面接試験内容について
- 19～20：面接練習

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

面接対策やビジネスマナーなどに関する標準的テキスト、種々のプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、レポート等と学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名	キャリアプランニングⅡ	開講年次	1年	授業時数	40	単位数	2
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	田口聖、濱里健史郎、山野勝和				

〔講義主要目標及び講義概要〕

働くということと社会人としての心構えなどを踏まえたうえで、自分史などを含めた自己理解を深め、エントリーシート作成のための力を養成する。事務処理能力向上のため適性検査を行う。

〔講義・演習項目〕

- 1～5：社会人としての心構え・自分史
- 6～10：自己分析作成
- 11～15：自己PR作成
- 16～20：志望動機・エントリーシート作成
- 21～40：適性試験対策

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

面接対策やビジネスマナーなどに関する標準的テキストおよび適性試験問題集、種々のプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、レポート等と学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名	トレーニング演習Ⅱ	開講年次	1年	授業時数	20	単位数	1
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	田口聖、濱里健史郎、山野勝和				

〔講義主要目標及び講義概要〕

トレーニング演習Ⅰを基本とし、各部位別のトレーニングマシンについて学び、また基本的なフリーウェイト種目も取り入れていく。総合的な体力の向上を目標とする。

〔講義・演習項目〕

- 1：オリエンテーション
- 2～4：形態測定
- 5～7：最大筋力の測定
- 8～11：胸部のエクササイズ
- 12～15：背部のエクササイズ
- 16～20：脚部のエクササイズ

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

テキストは使用しない。

〔成績評価〕

授業期間中に実施されるトレーニング課題の進捗状況、種々のテスト、出席等を総合して判断する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	コンピュータ演習 I	開講年次	1年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	田口聖、濱里健史郎、山野勝和				

〔講義主要目標及び講義概要〕

ワードによるタイピング能力の向上および文書作成の基本操作を身につける。

〔講義・演習項目〕

- 1～10：タイピング練習
- 11～20：ワードの基本操作

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

タイピング，ワードに関する，標準的テキスト種々のプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される課題の進捗状況，種々のテスト，出席等を総合して判断する。ただし，出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は，評価を受けることができない。

科目名	判断推理	開講年次	1年	授業時数	40	単位数	2
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

文章・記号・図形等による推理力・判断力を中心とした判断推理の領域および平面・立体図形・軌跡等による視覚能力・想像力を中心とした空間把握の領域における種々の問題を演習する。判断推理および空間把握分野に対応する基礎力を養うことを目標とする。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 判断推理：集合 | 21. 空間把握：展開図 2 |
| 2. 判断推理：論理命題 1 | 22. 空間把握：折り紙 |
| 3. 判断推理：論理命題 2 | 23. 空間把握：サイコロ 1 |
| 4. 判断推理：暗号 | 24. 空間把握：サイコロ 2 |
| 5. 判断推理：対応関係 1 | 25. 空間把握：立体図形 1 |
| 6. 判断推理：対応関係 2 | 26. 空間把握：立体図形 2 |
| 7. 判断推理：試合と勝敗 | 27. 空間把握：位相・道順 1 |
| 8. 判断推理：証言推理 1 | 28. 空間把握：位相・道順 2 |
| 9. 判断推理：証言推理 2 | 29. 総合演習 1 |
| 10. 判断推理：順序関係 1 | 30. 総合演習 2 |
| 11. 判断推理：順序関係 2 | 31. 総合演習 3 |
| 12. 判断推理：方位・位置 | 32. 総合演習 4 |
| 13. 判断推理：数量推理 1 | 33. 総合演習 5 |
| 14. 判断推理：数量推理 2 | 34. 総合演習 6 |
| 15. 判断推理：手順 | 35. 総合演習 7 |
| 16. 空間把握：平面図形 1 | 36. 総合演習 8 |
| 17. 空間把握：平面図形 2 | 37. 総合演習 9 |
| 18. 空間把握：軌跡 | 38. 総合演習 1 0 |
| 19. 空間把握：投影図 | 39. 総合演習 1 1 |
| 20. 空間把握：展開図 1 | 40. 総合演習 1 2 |

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

判断推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	判断推理演習 I	開講年次	1 年	授業時数	100	単位数	5
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

文章・記号・図形等による推理力・判断力を中心とした判断推理の領域および平面・立体図形・軌跡等による視覚能力・想像力を中心とした空間把握の領域における種々の問題を演習する。各種公務員試験の出題傾向を考慮しつつ、判断推理および空間把握分野に対応する応用力を養うことを目標とする。

〔講義・演習項目〕

- | | | |
|-------------|------------|--------------|
| 1. 集合 1 | 41. 数量推理 1 | 81. 立体図形 1 |
| 2. 集合 2 | 42. 数量推理 2 | 82. 立体図形 2 |
| 3. 集合 3 | 43. 数量推理 3 | 83. 立体図形 3 |
| 4. 集合 4 | 44. 数量推理 4 | 84. 立体図形 4 |
| 5. 集合 5 | 45. 数量推理 5 | 85. 立体図形 5 |
| 6. 論理命題 1 | 46. 手順 1 | 86. 位相・道順 1 |
| 7. 論理命題 2 | 47. 手順 2 | 87. 位相・道順 2 |
| 8. 論理命題 3 | 48. 手順 3 | 88. 位相・道順 3 |
| 9. 論理命題 4 | 49. 手順 4 | 89. 位相・道順 4 |
| 10. 論理命題 5 | 50. 手順 5 | 90. 位相・道順 5 |
| 11. 暗号 1 | 51. 平面図形 1 | 91. 総合演習 1 |
| 12. 暗号 2 | 52. 平面図形 2 | 92. 総合演習 2 |
| 13. 暗号 3 | 53. 平面図形 3 | 93. 総合演習 3 |
| 14. 暗号 4 | 54. 平面図形 4 | 94. 総合演習 4 |
| 15. 暗号 5 | 55. 平面図形 5 | 95. 総合演習 5 |
| 16. 対応関係 1 | 56. 軌跡 1 | 96. 総合演習 6 |
| 17. 対応関係 2 | 57. 軌跡 2 | 97. 総合演習 7 |
| 18. 対応関係 3 | 58. 軌跡 3 | 98. 総合演習 8 |
| 19. 対応関係 4 | 59. 軌跡 4 | 99. 総合演習 9 |
| 20. 対応関係 5 | 60. 軌跡 5 | 100. 総合演習 10 |
| 21. 試合と勝敗 1 | 61. 投影図 1 | |
| 22. 試合と勝敗 2 | 62. 投影図 2 | |
| 23. 試合と勝敗 3 | 63. 投影図 3 | |
| 24. 試合と勝敗 4 | 64. 投影図 4 | |
| 25. 試合と勝敗 5 | 65. 投影図 5 | |
| 26. 証言推理 1 | 66. 展開図 1 | |
| 27. 証言推理 2 | 67. 展開図 2 | |
| 28. 証言推理 3 | 68. 展開図 3 | |
| 29. 証言推理 4 | 69. 展開図 4 | |
| 30. 証言推理 5 | 70. 展開図 5 | |
| 31. 順序関係 1 | 71. 折り紙 1 | |
| 32. 順序関係 2 | 72. 折り紙 2 | |
| 33. 順序関係 3 | 73. 折り紙 3 | |
| 34. 順序関係 4 | 74. 折り紙 4 | |
| 35. 順序関係 5 | 75. 折り紙 5 | |
| 36. 方位・位置 1 | 76. サイコロ 1 | |
| 37. 方位・位置 2 | 77. サイコロ 2 | |
| 38. 方位・位置 3 | 78. サイコロ 3 | |
| 39. 方位・位置 4 | 79. サイコロ 4 | |
| 40. 方位・位置 5 | 80. サイコロ 5 | |

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

判断推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	数的推理	開講年次	1年	授業時数	60	単位数	3
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

数による推理力・判断力や処理能力および数学的な計算力を中心とした数的推理の領域における種々の問題を演習する。数的推理分野に対応する基礎力を養うことを目標とする。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 方程式・不等式 1 | 31. 図形の基礎 2 |
| 2. 方程式・不等式 2 | 32. 三角形 1 |
| 3. 数 1 | 33. 三角形 2 |
| 4. 数 2 | 34. 三角形 3 |
| 5. 数 3 | 35. 四角形・多角形 1 |
| 6. 数列 1 | 36. 四角形・多角形 2 |
| 7. 数列 2 | 37. 円 1 |
| 8. 魔方陣 1 | 38. 円 2 |
| 9. 魔方陣 2 | 39. 空間図形 1 |
| 10. 覆面算・虫喰算 1 | 40. 空間図形 2 |
| 11. 覆面算・虫喰算 2 | 41. 総合演習 1 |
| 12. 比・割合 1 | 42. 総合演習 2 |
| 13. 比・割合 2 | 43. 総合演習 3 |
| 14. 損益算 1 | 44. 総合演習 4 |
| 15. 損益算 2 | 45. 総合演習 5 |
| 16. 損益算 3 | 46. 総合演習 6 |
| 17. 時間・距離・速さ 1 | 47. 総合演習 7 |
| 18. 時間・距離・速さ 2 | 48. 総合演習 8 |
| 19. 仕事算 1 | 49. 総合演習 9 |
| 20. 仕事算 2 | 50. 総合演習 10 |
| 21. 場合の数 1 | 51. 総合演習 11 |
| 22. 場合の数 2 | 52. 総合演習 12 |
| 23. 場合の数 3 | 53. 総合演習 13 |
| 24. 確率 1 | 54. 総合演習 14 |
| 25. 確率 2 | 55. 総合演習 15 |
| 26. 測量 1 | 56. 総合演習 16 |
| 27. 測量 2 | 57. 総合演習 17 |
| 28. 暦 1 | 58. 総合演習 18 |
| 29. 暦 2 | 59. 総合演習 19 |
| 30. 図形の基礎 1 | 60. 総合演習 20 |

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

数的推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	数的推理演習 I	開講年次	1 年	授業時数	100	単位数	5
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

数による推理力・判断力や処理能力および数学的な計算力を中心とした数的推理の領域における種々の問題を演習する。各種公務員試験の出題傾向を考慮しつつ、数的推理分野に対応する応用力を養うことを目標とする。

〔講義・演習項目〕

- | | | |
|----------------|---------------|---------------|
| 1. 方程式・不等式 1 | 41. 仕事算 1 | 81. 四角形・多角形 6 |
| 2. 方程式・不等式 2 | 42. 仕事算 2 | 82. 円 1 |
| 3. 方程式・不等式 3 | 43. 仕事算 3 | 83. 円 2 |
| 4. 方程式・不等式 4 | 44. 仕事算 4 | 84. 円 3 |
| 5. 方程式・不等式 5 | 45. 仕事算 5 | 85. 円 4 |
| 6. 数 1 | 46. 場合の数 1 | 86. 円 5 |
| 7. 数 2 | 47. 場合の数 2 | 87. 空間図形 1 |
| 8. 数 3 | 48. 場合の数 3 | 88. 空間図形 2 |
| 9. 数 4 | 49. 場合の数 4 | 89. 空間図形 3 |
| 10. 数 5 | 50. 場合の数 5 | 90. 空間図形 4 |
| 11. 数列 1 | 51. 確率 1 | 91. 空間図形 5 |
| 12. 数列 2 | 52. 確率 2 | 92. 総合演習 1 |
| 13. 数列 3 | 53. 確率 3 | 93. 総合演習 2 |
| 14. 数列 4 | 54. 確率 4 | 94. 総合演習 3 |
| 15. 数列 5 | 55. 確率 5 | 95. 総合演習 4 |
| 16. 魔方陣 1 | 56. 測量 1 | 96. 総合演習 5 |
| 17. 魔方陣 2 | 57. 測量 2 | 97. 総合演習 6 |
| 18. 魔方陣 3 | 58. 測量 3 | 98. 総合演習 7 |
| 19. 魔方陣 4 | 59. 測量 4 | 99. 総合演習 8 |
| 20. 魔方陣 5 | 60. 測量 5 | 100. 総合演習 9 |
| 21. 覆面算・虫喰算 1 | 61. 暦 1 | |
| 22. 覆面算・虫喰算 2 | 62. 暦 2 | |
| 23. 覆面算・虫喰算 3 | 63. 暦 3 | |
| 24. 覆面算・虫喰算 4 | 64. 暦 4 | |
| 25. 覆面算・虫喰算 5 | 65. 暦 5 | |
| 26. 比・割合 1 | 66. 図形の基礎 1 | |
| 27. 比・割合 2 | 67. 図形の基礎 2 | |
| 28. 比・割合 3 | 68. 図形の基礎 3 | |
| 29. 比・割合 4 | 69. 図形の基礎 4 | |
| 30. 比・割合 5 | 70. 図形の基礎 5 | |
| 31. 損益算 1 | 71. 三角形 1 | |
| 32. 損益算 2 | 72. 三角形 2 | |
| 33. 損益算 3 | 73. 三角形 3 | |
| 34. 損益算 4 | 74. 三角形 4 | |
| 35. 損益算 5 | 75. 三角形 5 | |
| 36. 時間・距離・速さ 1 | 76. 四角形・多角形 1 | |
| 37. 時間・距離・速さ 2 | 77. 四角形・多角形 2 | |
| 38. 時間・距離・速さ 3 | 78. 四角形・多角形 3 | |
| 39. 時間・距離・速さ 4 | 79. 四角形・多角形 4 | |
| 40. 時間・距離・速さ 5 | 80. 四角形・多角形 5 | |

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

数的推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	就職セミナー I	開講年次	1年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	実務経験のある教員 (企業の新入職員研修を実施している企業担当者でありキャリア アディベロップメントアドバイザー) [担当教員紹介] 担当教員は、ビジネスマナー、特に接客等の技術を専門的にレ クチャーする会社の社員であり、接客等の実務経験に基づいてビ ジネスマナー向上のための授業を展開する。				
[講義主要目標及び講義概要] 卒業後の進路選択を考える前段階として、日々の学生生活を有意義なものとする意識の高揚を目指 す。特に、社会人として必要とされる基本的なものの見方や考え方・行動の仕方について理解を深め、 礼儀・マナーの修得、面接練習等を重視する。							
[講義・演習項目] 1：職業についての考え方 2：就職を取り巻く社会状況の分析 3：就職活動の予備知識 4～5：企業研究・官公庁研究の方法 6～7：自己分析の仕方 8～10：礼儀・マナー・敬語表現の知識 11～15：ビデオ等による事例研究 16～20：面接練習							
※ 時数不足の場合は課題として提出							
[テキスト] 種々のプリント、ビデオ等を中心とする。							
[成績評価] セミナーへの取り組み状況、レポートの内容により評価する。							

科目名	数的推理演習	開講年次	2年	授業時数	100	単位数	5
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

数による推理力・判断力や処理能力及び数学的な計算力を中心とした数的推理の領域の基礎力をより一層深いものにするために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | | |
|----------------|---------------|---------------|
| 1. 方程式・不等式 1 | 41. 仕事算 1 | 81. 四角形・多角形 6 |
| 2. 方程式・不等式 2 | 42. 仕事算 2 | 82. 円 1 |
| 3. 方程式・不等式 3 | 43. 仕事算 3 | 83. 円 2 |
| 4. 方程式・不等式 4 | 44. 仕事算 4 | 84. 円 3 |
| 5. 方程式・不等式 5 | 45. 仕事算 5 | 85. 円 4 |
| 6. 数 1 | 46. 場合の数 1 | 86. 円 5 |
| 7. 数 2 | 47. 場合の数 2 | 87. 空間図形 1 |
| 8. 数 3 | 48. 場合の数 3 | 88. 空間図形 2 |
| 9. 数 4 | 49. 場合の数 4 | 89. 空間図形 3 |
| 10. 数 5 | 50. 場合の数 5 | 90. 空間図形 4 |
| 11. 数列 1 | 51. 確率 1 | 91. 空間図形 5 |
| 12. 数列 2 | 52. 確率 2 | 92. 総合演習 1 |
| 13. 数列 3 | 53. 確率 3 | 93. 総合演習 2 |
| 14. 数列 4 | 54. 確率 4 | 94. 総合演習 3 |
| 15. 数列 5 | 55. 確率 5 | 95. 総合演習 4 |
| 16. 魔方陣 1 | 56. 測量 1 | 96. 総合演習 5 |
| 17. 魔方陣 2 | 57. 測量 2 | 97. 総合演習 6 |
| 18. 魔方陣 3 | 58. 測量 3 | 98. 総合演習 7 |
| 19. 魔方陣 4 | 59. 測量 4 | 99. 総合演習 8 |
| 20. 魔方陣 5 | 60. 測量 5 | 100. 総合演習 9 |
| 21. 覆面算・虫喰算 1 | 61. 暦 1 | |
| 22. 覆面算・虫喰算 2 | 62. 暦 2 | |
| 23. 覆面算・虫喰算 3 | 63. 暦 3 | |
| 24. 覆面算・虫喰算 4 | 64. 暦 4 | |
| 25. 覆面算・虫喰算 5 | 65. 暦 5 | |
| 26. 比・割合 1 | 66. 図形の基礎 1 | |
| 27. 比・割合 2 | 67. 図形の基礎 2 | |
| 28. 比・割合 3 | 68. 図形の基礎 3 | |
| 29. 比・割合 4 | 69. 図形の基礎 4 | |
| 30. 比・割合 5 | 70. 図形の基礎 5 | |
| 31. 損益算 1 | 71. 三角形 1 | |
| 32. 損益算 2 | 72. 三角形 2 | |
| 33. 損益算 3 | 73. 三角形 3 | |
| 34. 損益算 4 | 74. 三角形 4 | |
| 35. 損益算 5 | 75. 三角形 5 | |
| 36. 時間・距離・速さ 1 | 76. 四角形・多角形 1 | |
| 37. 時間・距離・速さ 2 | 77. 四角形・多角形 2 | |
| 38. 時間・距離・速さ 3 | 78. 四角形・多角形 3 | |
| 39. 時間・距離・速さ 4 | 79. 四角形・多角形 4 | |
| 40. 時間・距離・速さ 5 | 80. 四角形・多角形 5 | |

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

数的推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	判断推理演習	開講年次	2年	授業時数	100	単位数	5
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

文章・記号・図形等による推理力・判断力を中心とした判断推理の領域および平面・立体図形・軌跡等による視覚能力・想像力を中心とした空間把握の領域の基本を養うことを目指し、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | | |
|-------------|------------|--------------|
| 1. 集合 1 | 41. 数量推理 1 | 81. 立体図形 1 |
| 2. 集合 2 | 42. 数量推理 2 | 82. 立体図形 2 |
| 3. 集合 3 | 43. 数量推理 3 | 83. 立体図形 3 |
| 4. 集合 4 | 44. 数量推理 4 | 84. 立体図形 4 |
| 5. 集合 5 | 45. 数量推理 5 | 85. 立体図形 5 |
| 6. 論理命題 1 | 46. 手順 1 | 86. 位相・道順 1 |
| 7. 論理命題 2 | 47. 手順 2 | 87. 位相・道順 2 |
| 8. 論理命題 3 | 48. 手順 3 | 88. 位相・道順 3 |
| 9. 論理命題 4 | 49. 手順 4 | 89. 位相・道順 4 |
| 10. 論理命題 5 | 50. 手順 5 | 90. 位相・道順 5 |
| 11. 暗号 1 | 51. 平面図形 1 | 91. 総合演習 1 |
| 12. 暗号 2 | 52. 平面図形 2 | 92. 総合演習 2 |
| 13. 暗号 3 | 53. 平面図形 3 | 93. 総合演習 3 |
| 14. 暗号 4 | 54. 平面図形 4 | 94. 総合演習 4 |
| 15. 暗号 5 | 55. 平面図形 5 | 95. 総合演習 5 |
| 16. 対応関係 1 | 56. 軌跡 1 | 96. 総合演習 6 |
| 17. 対応関係 2 | 57. 軌跡 2 | 97. 総合演習 7 |
| 18. 対応関係 3 | 58. 軌跡 3 | 98. 総合演習 8 |
| 19. 対応関係 4 | 59. 軌跡 4 | 99. 総合演習 9 |
| 20. 対応関係 5 | 60. 軌跡 5 | 100. 総合演習 10 |
| 21. 試合と勝敗 1 | 61. 投影図 1 | |
| 22. 試合と勝敗 2 | 62. 投影図 2 | |
| 23. 試合と勝敗 3 | 63. 投影図 3 | |
| 24. 試合と勝敗 4 | 64. 投影図 4 | |
| 25. 試合と勝敗 5 | 65. 投影図 5 | |
| 26. 証言推理 1 | 66. 展開図 1 | |
| 27. 証言推理 2 | 67. 展開図 2 | |
| 28. 証言推理 3 | 68. 展開図 3 | |
| 29. 証言推理 4 | 69. 展開図 4 | |
| 30. 証言推理 5 | 70. 展開図 5 | |
| 31. 順序関係 1 | 71. 折り紙 1 | |
| 32. 順序関係 2 | 72. 折り紙 2 | |
| 33. 順序関係 3 | 73. 折り紙 3 | |
| 34. 順序関係 4 | 74. 折り紙 4 | |
| 35. 順序関係 5 | 75. 折り紙 5 | |
| 36. 方位・位置 1 | 76. サイコロ 1 | |
| 37. 方位・位置 2 | 77. サイコロ 2 | |
| 38. 方位・位置 3 | 78. サイコロ 3 | |
| 39. 方位・位置 4 | 79. サイコロ 4 | |
| 40. 方位・位置 5 | 80. サイコロ 5 | |

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

判断推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	資料分析演習Ⅱ	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

統計資料により判断力・計算力等の資料解釈の領域の応用力を身につけ、より頻出度の高い分野について種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 実数・指数 1 | 21. 構成比 6 |
| 2. 実数・指数 2 | 22. 構成比 7 |
| 3. 実数・指数 3 | 23. 構成比 8 |
| 4. 実数・指数 4 | 24. 構成比 9 |
| 5. 実数・指数 5 | 25. 構成比 10 |
| 6. 構成比 1 | 26. 増加率・その他 6 |
| 7. 構成比 2 | 27. 増加率・その他 7 |
| 8. 構成比 3 | 28. 増加率・その他 8 |
| 9. 構成比 4 | 29. 増加率・その他 9 |
| 10. 構成比 5 | 30. 増加率・その他 10 |
| 11. 増加率・その他 1 | 31. 総合演習 1 |
| 12. 増加率・その他 2 | 32. 総合演習 2 |
| 13. 増加率・その他 3 | 33. 総合演習 3 |
| 14. 増加率・その他 4 | 34. 総合演習 4 |
| 15. 増加率・その他 5 | 35. 総合演習 5 |
| 16. 実数・指数 6 | 36. 総合演習 6 |
| 17. 実数・指数 7 | 37. 総合演習 7 |
| 18. 実数・指数 8 | 38. 総合演習 8 |
| 19. 実数・指数 9 | 39. 総合演習 9 |
| 20. 実数・指数 10 | 40. 総合演習 10 |

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

資料解釈に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	文章研究Ⅲ	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

現代文・古文・漢文・英文等の文章に対する読解力・内容把握力・構成力等の総合的理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 要旨把握 1 | 21. 古文の内容把握 1 |
| 2. 要旨把握 2 | 22. 古文の内容把握 2 |
| 3. 要旨把握 3 | 23. 古文の内容把握 3 |
| 4. 要旨把握 4 | 24. 古文の内容把握 4 |
| 5. 内容把握 1 | 25. 漢文の内容把握 1 |
| 6. 内容把握 2 | 26. 漢文の内容把握 2 |
| 7. 内容把握 3 | 27. 漢文の内容把握 3 |
| 8. 内容把握 4 | 28. 漢文の内容把握 4 |
| 9. 下線部把握 1 | 29. 英文の内容把握 1 |
| 10. 下線部把握 2 | 30. 英文の内容把握 2 |
| 11. 下線部把握 3 | 31. 英文の内容把握 3 |
| 12. 下線部把握 4 | 32. 英文の内容把握 4 |
| 13. 空欄補充 1 | 33. 総合演習 1 |
| 14. 空欄補充 2 | 34. 総合演習 2 |
| 15. 空欄補充 3 | 35. 総合演習 3 |
| 16. 空欄補充 4 | 36. 総合演習 4 |
| 17. 文章整序 1 | 37. 総合演習 5 |
| 18. 文章整序 2 | 38. 総合演習 6 |
| 19. 文章整序 3 | 39. 総合演習 7 |
| 20. 文章整序 4 | 40. 総合演習 8 |

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

文章研究に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	適性演習Ⅱ	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

適性演習Ⅰを踏まえて事務処理能力の基本である作業につき、計算・分類・照合・置き換え・図形把握等の形式を中心として、より複雑な問題についてスパイラル方式による演習を行う。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 計算・分類・図形把握の形式1 | 21. 分類・置き換え・図形把握の形式1 |
| 2. 計算・分類・図形把握の形式2 | 22. 分類・置き換え・図形把握の形式2 |
| 3. 計算・分類・図形把握の形式3 | 23. 分類・置き換え・図形把握の形式3 |
| 4. 計算・分類・図形把握の形式4 | 24. 分類・置き換え・図形把握の形式4 |
| 5. 計算・分類・図形把握の形式5 | 25. 分類・置き換え・図形把握の形式5 |
| 6. 計算・照合・図形把握の形式1 | 26. 照合・置き換え・図形把握の形式等1 |
| 7. 計算・照合・図形把握の形式2 | 27. 照合・置き換え・図形把握の形式等2 |
| 8. 計算・照合・図形把握の形式3 | 28. 照合・置き換え・図形把握の形式等3 |
| 9. 計算・照合・図形把握の形式4 | 29. 照合・置き換え・図形把握の形式等4 |
| 10. 計算・照合・図形把握の形式5 | 30. 照合・置き換え・図形把握の形式等5 |
| 11. 計算・置き換え・図形把握の形式1 | 31. 総合演習1 |
| 12. 計算・置き換え・図形把握の形式2 | 32. 総合演習2 |
| 13. 計算・置き換え・図形把握の形式3 | 33. 総合演習3 |
| 14. 計算・置き換え・図形把握の形式4 | 34. 総合演習4 |
| 15. 計算・置き換え・図形把握の形式5 | 35. 総合演習5 |
| 16. 分類・照合・図形把握の形式1 | 36. 総合演習6 |
| 17. 分類・照合・図形把握の形式2 | 37. 総合演習7 |
| 18. 分類・照合・図形把握の形式3 | 38. 総合演習8 |
| 19. 分類・照合・図形把握の形式4 | 39. 総合演習9 |
| 20. 分類・照合・図形把握の形式5 | 40. 総合演習10 |

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

適性に関するプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	社会学	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

社会関係における地位と役割、階級と階層、家族、都市と農村、および社会変動等についての理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 社会関係における地位と役割 1
2. 社会関係における地位と役割 2
3. 社会関係における地位と役割 3
4. 階級と階層 1
5. 階級と階層 2
6. 階級と階層 3
7. 社会変動論 1
8. 社会変動論 2
9. 社会変動論 3
10. 家族 1
11. 家族 2
12. 家族 3
13. 都市と農村 1
14. 都市と農村 2
15. 都市と農村 3
16. 都市と農村 4
17. 組織・管理論 等 1
18. 組織・管理論 等 2
19. 組織・管理論 等 3
20. 組織・管理論 等 4

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

社会学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	教育・心理学	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

教育学においては、教育史、教育社会学、教育法規、生涯学習、教育方法についての理解を目指し、心理学においては、学習、認知、発達、社会等についての理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 教育学：教育史 1
2. 教育学：教育史 2
3. 教育学：教育社会学 1
4. 教育学：教育社会学 2
5. 教育学：教育法規 1
6. 教育学：教育法規 2
7. 教育学：生涯学習 1
8. 教育学：生涯学習 2
9. 教育学：教育方法学 1
10. 教育学：教育方法学 2
11. 心理学：感覚・知覚 1
12. 心理学：感覚・知覚 2
13. 心理学：学習
14. 心理学：認知
15. 心理学：発達
16. 心理学：社会
17. 心理学：人格・臨床
18. 心理学：教育
19. 心理学：感情
20. 心理学：心理測定法

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

教育学・心理学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	判断推理Ⅲ	開講年次	2年	授業時数	100	単位数	5
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

文章・記号・図形等による推理力・判断力を中心とした判断推理の領域および平面・立体図形・軌跡等による視覚能力・想像力を中心とした空間把握の領域における種々の問題を演習する。各種公務員試験の出題傾向を考慮しつつ、判断推理および空間把握分野に対応する応用力を養うことを目標とする。

〔講義・演習項目〕

1～100：総合演習

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

判断推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、定期的実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	数的推理Ⅲ	開講年次	2年	授業時数	100	単位数	5
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

数による推理力・判断力や処理能力および数学的な計算力を中心とした数的推理の領域における種々の問題を演習する。各種公務員試験の出題傾向を考慮しつつ、数的推理分野に対応する応用力を養うことを目標とする。

〔講義・演習項目〕

1～100：総合演習

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

数的推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、定期的実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	総合人間科学演習 I	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

総合人間科学概論 I で学んだ社会学, 教育学, 心理学に関する基礎知識を踏まえ, 法務省専門職員(人間科学) 採用試験の過去問題を中心とした社会学, 教育学, 心理学の問題演習を中心に, 公務員試験に出題される問題に対応できる実力を養成する。

〔講義・演習項目〕

1～20：過去問演習（社会学・教育学・心理学）

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

社会学, 教育学並びに心理学に関する標準的テキスト, 種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト, 学期末試験, 出席等を総合して判断する。具体的には, 単元ごとに実施する確認テスト(答練)が50%, 学期末試験が50%の割合で評価する。ただし, 出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は, 評価を受けることができない。

科目名	卒業研究	開講年次	2年	授業時数	160	単位数	8
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

専門学校での学習の集大成として、就職先の業界研究や官庁研究など各学生がテーマを考え論文を作成する。

〔講義・演習項目〕

- 1～5：卒業研究の概要
- 6～10：テーマの研究
- 11～25：情報収集
- 26～100：下書き作成
- 101～160：清書作成

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

各学生が収集した卒業研究に関する資料を中心とする。

〔成績評価〕

あらかじめ定められている手順・スケジュールにのっとり作成されているか等を考慮しつつ、論文の内容を総合判断して評価する。

科目名	ビジネスマナー	開講年次	2年	授業時数	80	単位数	4
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

ビジネスに必要な基本的なスキルや知識を習得することで、書類管理やスケジュール管理、ビジネス文書の作成の習得する過程で、新しい知識やスキルを身につけ、将来の業務に取り組むことができるよう習得を目指す。また、秘書検定合格を目標とする。

〔講義・演習項目〕

1～6：社会人としてのマナー・接遇
7～12：文書作成（社内・社外・社交）
13～18：受信文書の取り扱い
19～24：書類管理
25～30：スケジュール管理
31～40：企業の基礎知識・経営管理
41～50：企業会計・財務・税務の知識
51～60：求められる能力
61～70：機密保持
71～80：秘書の役割と機能

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

秘書検定に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、検定試験、出席等を総合して判断する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	ビジネスマナーⅡ	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	田口聖、濱里健史郎、山野勝和				

〔講義主要目標及び講義概要〕

ビジネスに必要な基本的なスキルや知識を習得することで、書類管理やスケジュール管理、ビジネス文書の作成の習得する過程で、新しい知識やスキルを身につけ、将来の業務に取り組むことができるよう習得を目指す。また、秘書検定合格を目標とする。

〔講義・演習項目〕

- 1～3：社会人としてのマナー・接遇
- 4～6：文書作成（社内・社外・社交）
- 7～9：受信文書の取り扱い
- 10～12：書類管理
- 13～15：スケジュール管理
- 16～20：企業の基礎知識・経営管理
- 21～25：企業会計・財務・税務の知識
- 26～30：求められる能力
- 31～35：機密保持
- 36～40：秘書の役割と機能

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

秘書検定に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、検定試験、出席等を総合して判断する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	コンピュータ演習	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

主にワードによる文書作成，エクセルによる表計算，パワーポイントによるプレゼンテーション演習をおこなう。それぞれのソフトの基本操作を習得することを目標とする。

〔講義・演習項目〕

- 1～5：ワードによる文書作成
- 6～10：エクセルによる表計算
- 11～15：パワーポイントによるプレゼンテーション資料作成
- 16～17：課題制作
- 18～20：プレゼンテーション

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

情報処理に関するテキスト，種々のプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される課題の進捗状況，種々のテスト，出席等を総合して判断する。ただし，出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は，評価を受けることができない。

科目名	コンピュータ演習Ⅱ	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

主にワードによる文書作成，エクセルによる表計算，パワーポイントによるプレゼンテーション演習をおこなう。それぞれのソフトの基本操作を習得することを目標とする。

〔講義・演習項目〕

1～6：ワードによる文書作成
7～12：エクセルによる表計算
13～16：パワーポイントによるプレゼンテーション資料作成
17～18：課題制作
19～20：プレゼンテーション

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

Officeソフトに関する標準的テキスト，種々のプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される課題の進捗状況，種々のテスト，出席等を総合して判断する。ただし，出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は，評価を受けることができない。

科目名	コンピュータ演習Ⅲ	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

主にワードによる文書作成，エクセルによる表計算，パワーポイントによるプレゼンテーション演習をおこなう。それぞれのソフトの基本操作を習得することを目標とする。

〔講義・演習項目〕

1～12：ワードによる文書作成
13～24：エクセルによる表計算
25～32：パワーポイントによるプレゼンテーション資料作成
33～38：課題制作
39～40：プレゼンテーション

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

情報処理に関するテキスト，種々のプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される課題の進捗状況，種々のテスト，出席等を総合して判断する。ただし，出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は，評価を受けることができない。

科目名	職業実務ⅡB	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	実務経験のある教員 (現役行政書士) [担当教員紹介] 担当教員は行政書士であり、法律に基づいてコンプライアンスに関する不祥事や問題点を挙げ自身の身を守るための授業を展開する。また公務員や民間企業や個人の不祥事を身近に捉えることで生活に関するコンプライアンスを習得する。				

〔講義主要目標及び講義概要〕

法令遵守のみならず、社会的ニーズへの対応の仕方を、実例を踏まえて修得する。近い将来、学生たちが社会で活躍する上で、基本的なコンプライアンス意識が醸成されたレベルを兼ね備えて送り出せるようにしたい。

〔講義・演習項目〕

1. コンプライアンスとは
2. コンプライアンスの重要性
3. コンプライアンス違反の例①
4. コンプライアンス違反の例②
5. コンプライアンス違反の例③
6. コンプライアンス違反の例④
7. 行政書士とコンプライアンス
8. 職務上請求書不正使用事件
9. 公務員倫理とは
10. 公務員としての倫理を保持するために
11. 現場特有のコンプライアンス違反の例①
12. 現場特有のコンプライアンス違反の例②
13. 現場特有のコンプライアンス違反の例③
14. 現場特有のコンプライアンス違反の例④
15. 現場特有のコンプライアンス違反の例⑤
16. 現場特有のコンプライアンス違反の例⑥
17. 現場特有のコンプライアンス違反の例⑦
18. グループワーク演習①
19. グループワーク演習②
20. レポート作成

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

官公庁、企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。

〔成績評価〕

ディスカッションでの発言等授業への取り組み状況、レポートおよびその発表内容を総合評価する。

科目名	職業実務ⅡC	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1																				
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習																				
		担当教員	実務経験のある教員 (現役近畿財務局職員)、(現役日本年金機構職員) [担当教員紹介] 担当教員の一人は、現役近畿財務局職員であり家計管理や資産形成、金融トラブルなど金融リテラシーの知識を習得する。また自分の将来の暮らし方(ライフプランニング)を考える授業を展開する。 担当教員のもう一人は、現役日本年金機構職員であり職業実務ⅡCで受講した公的年金に対する基礎知識を発展させるような授業を展開する。																								
[講義主要目標及び講義概要] 卒業後の人生においてお金にまつわる諸問題と、それに関わる犯罪についても学ぶ。また、将来に渡ってどのように自身とお金に関わっていくかを修得する。																											
[講義・演習項目] <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="width:50%;">1. 金融リテラシーの定義</td> <td>11. 公的年金制度 1</td> </tr> <tr> <td>2. 金融リテラシーとは</td> <td>12. 公的年金制度 2</td> </tr> <tr> <td>3. 家計管理とライフプランニング</td> <td>13. 公的年金の種類 1</td> </tr> <tr> <td>4. 「使う」家計管理のポイント</td> <td>14. 公的年金の種類 2</td> </tr> <tr> <td>5. 「備える」社会保険と民間保険</td> <td>15. 事例研究(遺族年金) 1</td> </tr> <tr> <td>6. 「貯める・増やす」資産形成</td> <td>16. 事例研究(遺族年金) 2</td> </tr> <tr> <td>7. 「借りる」ローン・クレジット・奨学金</td> <td>17. 事例研究(障害者年金) 1</td> </tr> <tr> <td>8. 金融トラブル</td> <td>18. 事例研究(障害者年金) 2</td> </tr> <tr> <td>9. グループワーク</td> <td>19. グループワーク</td> </tr> <tr> <td>10. レポート作成</td> <td>20. レポート作成</td> </tr> </table> <p style="text-align:right;">※ 時数不足の場合は課題として提出</p>								1. 金融リテラシーの定義	11. 公的年金制度 1	2. 金融リテラシーとは	12. 公的年金制度 2	3. 家計管理とライフプランニング	13. 公的年金の種類 1	4. 「使う」家計管理のポイント	14. 公的年金の種類 2	5. 「備える」社会保険と民間保険	15. 事例研究(遺族年金) 1	6. 「貯める・増やす」資産形成	16. 事例研究(遺族年金) 2	7. 「借りる」ローン・クレジット・奨学金	17. 事例研究(障害者年金) 1	8. 金融トラブル	18. 事例研究(障害者年金) 2	9. グループワーク	19. グループワーク	10. レポート作成	20. レポート作成
1. 金融リテラシーの定義	11. 公的年金制度 1																										
2. 金融リテラシーとは	12. 公的年金制度 2																										
3. 家計管理とライフプランニング	13. 公的年金の種類 1																										
4. 「使う」家計管理のポイント	14. 公的年金の種類 2																										
5. 「備える」社会保険と民間保険	15. 事例研究(遺族年金) 1																										
6. 「貯める・増やす」資産形成	16. 事例研究(遺族年金) 2																										
7. 「借りる」ローン・クレジット・奨学金	17. 事例研究(障害者年金) 1																										
8. 金融トラブル	18. 事例研究(障害者年金) 2																										
9. グループワーク	19. グループワーク																										
10. レポート作成	20. レポート作成																										
[テキスト] 官公庁、企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。																											
[成績評価] ディスカッションでの発言等授業への取り組み状況、レポートおよびその発表内容を総合評価する。																											

科目名	職業実務ⅡD	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	実務経験のある教員 (現役京都労働局職員) [担当教員紹介] 担当教員の一人は、現役京都労働局職員であり、労働者の権利と義務に関する知識を修得するための授業を展開する。				

〔講義主要目標及び講義概要〕

社会に出てから直面するであろう労働問題について、労働法制の面から社会人として知っておくべき知識を理解することを目標とする。

〔講義・演習項目〕

1. 労働法について1
2. 労働法について2
3. 労働契約法1
4. 労働契約法2
5. 労働基準法1
6. 労働基準法2
7. 事例研究(労働条件と事実に相違がある場合)1
8. 事例研究(労働条件と事実に相違がある場合)2
9. 就業規則1
10. 就業規則2
11. 労働時間・休憩・休日1
12. 労働時間・休憩・休日2
13. 36協定1
14. 36協定2
15. 労働に関する保険1
16. 労働に関する保険2
17. 職場におけるハラスメント防止1
18. 職場におけるハラスメント防止2
19. グループワーク
20. レポート作成

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

授業担当者が作成したレジメ

〔成績評価〕

ディスカッションでの発言等授業への取り組み状況、レポートおよびその発表内容を総合評価する。

科目名	キャリアデザインⅢ	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

官公庁職員による講演を聞き，さらに官公庁訪問を通じて5年後，10年後の将来の自分像を具体的にイメージさせることを目標とする。

〔講義・演習項目〕

1～36：官公庁講演（庁舎見学を含める）およびレポート作成
37～40：就職後の自分を考える

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

官公庁で発行されているパンフレットや官公庁ならびに職種に関するガイドブック等および種々のプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト，レポート等と学期末試験，出席等を総合して判断する。

科目名	キャリアデザインⅣ	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太、実務経験のある教員 (官公庁で実務を担当している方など)				

〔講義主要目標及び講義概要〕

自らが志望する官公庁や職種について詳細に調べ、研究することで、志望先の理解を深め、それぞれの志望先に確実に就職できるだけの実力を養成する。

〔講義・演習項目〕

1～40：志望する官公庁・職種についての研究

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

官公庁で発行されているパンフレットや官公庁ならびに職種に関するガイドブック等および種々のプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、レポート等と学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名	キャリアプランニングⅢ	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

過去に出題されたテーマを基礎として論作文を作成することができる力を養成するとともに、近年実施されることとの多くなったプレゼンテーションを効果的に行える実力を養うとともに模擬面接を通じて面接対策を行っていく。

〔講義・演習項目〕

1～40：論作文作成・模擬面接・プレゼンテーション資料作成

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

論作文や面接対策、プレゼンテーションに関する標準的テキストおよび種々のプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、レポート等と学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名	キャリアプランニングⅣ	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

自己分析や官公庁についての研究を踏まえ、定式は押さえたうえで他人とは異なる独創的な内容のエントリーシートの作成をめざす。また、適性試験で事務処理能力の基本である文書作成・集計・照合・転記・分類・整理といった各作業を、速くかつ正確に行うことを目標とする。

〔講義・演習項目〕

1～40：エントリーシート作成・適性試験対策

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

エントリーシート作成に関する就職試験対策に関する標準的テキストおよび適性試験問題集、種々のプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、レポート等と学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名	トレーニング演習Ⅲ	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	奥村優、増井康太				

〔講義主要目標及び講義概要〕

トレーニング演習Ⅰ・Ⅱを基本とし、各部位別のトレーニングマシンについて深く学び、また実践的なフリーウェイト種目も取り入れていく。公務員体力試験に対応する体力の養成を目標とする。

〔講義・演習項目〕

- 1：オリエンテーション
- 2～4：形態測定
- 5～7：最大筋力の測定
- 8～11：胸部のエクササイズ
- 12～15：背部のエクササイズ
- 16～20：脚部のエクササイズ

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

テキストは使用しない

〔成績評価〕

授業期間中に実施されるトレーニング課題の進捗状況、種々のテスト、出席等を総合して判断する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。